



WinActor Manager on Cloud Version 3.3

チュートリアルブック

NTTアドバンステクノロジー株式会社

商標について

本書において以下に記載された名称、およびその他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®、©マークは省略しています。

- Microsoft、Windows^{※1}、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※1 Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

- その他の記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本書について

この「WinActor Manager on Cloud チュートリアルブック」（以下、本書）は、WinActor Manager on Cloud（以下、WinActor Manager）をより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載したチュートリアルです。

本書は、WinActor Manager を利用して WinActor を運用、管理、実行するユーザを対象としています。

■ 本書に関する注意

- 本書および提供するソフトウェア類に付された著作権表示「Copyright © 2021 NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.」の変更、削除をすることはできません。
本書の著作権はエヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社に帰属します。
- 本書では、Windows の操作方法や機能を理解されていることを前提として説明しています。本書に記載されていないことについては、Microsoft が提供しているドキュメントなどをご覧ください。




■ マニュアルの構成

WinActor Manager のマニュアル全体の構成については、以下を参照してください。

WinActor Manager on Cloud スタートアップマニュアル	WinActor を WinActor Manager に接続するための準備方法を記載しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル	WinActor Manager の画面構成と基本的な操作方法について記述しているマニュアルです。
WinActor Manager on Cloud チュートリアルブック	WinActor Manager をより便利に使用するために、目的に応じた使い方を記載しているチュートリアルです（本書）。

■ 本書のアイコン

本書で使用しているアイコンおよび記号の意味は、以下のとおりです。

	特に重要な情報
	本文、画面説明、操作などへの補足的な情報
	本書の他のページや他のマニュアルなどへの参照情報

WinActor Manager の利用環境

WinActor Manager を利用するための前提条件を以下に示します。

- WinActor と WinActor Manager の間の HTTPS 通信が可能であること。
- WinActor Manager にログインするためのブラウザとして、Google Chrome を使用すること。

WinActor Manager の使用に関する注意

WinActor Manager を使用する場合、以下の点にご注意ください。

- WinActor Manager は、WinActor で使用するシナリオやデータファイル、WinActor がタスクを実行した結果ファイルを取り扱います。このため、シナリオやデータファイルおよび結果ファイルには、個人情報など含まれている可能性があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- WinActor Manager は、端末にインストールされた WinActor を自動的に実行する機能を有しています。他者への迷惑行為を自動的に実行するなど、公序良俗に反する行為には使用しないでください。

目次

商標について	i
本書について	ii
WinActor Manager の利用環境	iii
WinActor Manager の使用に関する注意	iii
目次	iv
1. シナリオ作成からスケジュール登録までをまとめて行うには	1
1.1 タスク登録ボタンでできること	1
1.2 タスク登録をする	2
2. 複数のシナリオをまとめて実行するには	7
2.1 シナリオを準備する	7
2.2 シナリオを登録する	9
3. 機能タグを利用して実行する WinActor を選択するには	13
4. シナリオと変数の値をやりとりするには	19
4.1 シナリオを準備する	19
4.2 シナリオを登録する	23
4.3 結果を確認する	32
5. シナリオと入出力ファイルをやりとりするには	34
5.1 シナリオを修正する	34
5.2 シナリオを登録する	40
5.3 結果を確認する	47
6. 日時以外のタイミングでシナリオを実行するには	49
6.1 シナリオを準備する	49
6.2 シナリオを登録する	50
6.3 データを登録する	54
7. 複数のシナリオを連続して実行するには	61
7.1 シナリオを準備する	61
7.2 シナリオを登録する	63
7.3 シナリオを実行する	71
8. 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには	73
8.1 シナリオを準備する	73

8.2	シナリオを登録する	76
8.3	シナリオを実行する	88
9.	データを分割して複数の WinActor で実行するには	92
9.1	シナリオを準備する	92
9.2	シナリオを登録する	97
9.3	シナリオを実行する	103
10.	承認後にシナリオを開始するには	108
10.1	シナリオを準備する	108
10.2	シナリオを登録する	109
10.3	シナリオを実行する	113

1. シナリオ作成からスケジュール登録までをまとめて行うには

ここでは、シナリオファイルのアップロード、シナリオの登録、スケジュールの登録を一度に行う方法について説明します。

1.1 タスク登録ボタンでできること

「ダッシュボード」画面の [タスク登録] ボタンをクリックすると、以下に示すタスクとしてシナリオを実行するまでの最も基本的な流れを、1 つの画面で完了することができます。

① シナリオファイルのアップロード



② WinActor Manager へのシナリオの登録



③ スケジュールの登録




ダッシュボードの [タスク登録] ボタンからシナリオとスケジュールを登録する場合、上記の流れを 1 つの画面で行えます。ただし、以下の詳細設定をすることはできません。

- シナリオの設定
「パスワード」「入出力パラメータ」「メモ」「機能タグ」「シナリオタグ」
- スケジュールの設定
「連携パラメータ」「データ一覧ファイル」「データ分割数」「実行指定：データ駆動」「メモ」「リトライ回数」「リトライ間隔」

タスク登録したあとに上記のシナリオ設定をしたい場合は、シナリオを更新する必要があります。

また、上記のスケジュール設定をしたい場合は、シナリオを選択してスケジュールを登録しなおす必要があります。

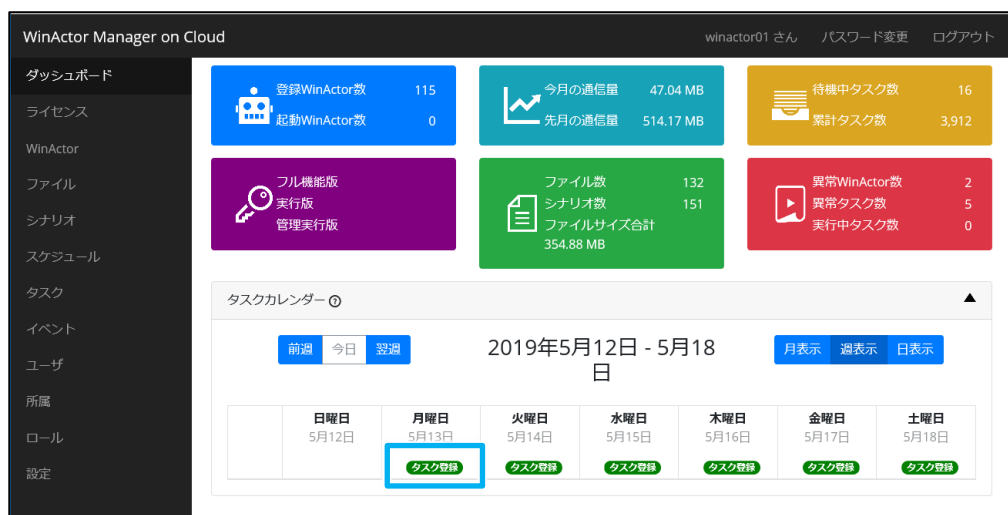
 詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』を参照してください。

1.2 タスク登録をする

ダッシュボードの [タスク登録] ボタンをクリックして、タスク登録を試みましょう。

Steps

1. 「ダッシュボード」画面で、[タスク登録] ボタンをクリックします。



「タスク登録」画面が表示されます。

2. アップロードするシナリオファイルを選択し、タスクの名前を設定します。

- 1 [参照] ボタンをクリックして、アップロードするファイルを選択します。
「名前」に自動的にタスクの名前が入ります。



- 標準では、タスクの名前は、以下の形式になります。

タスク <日付>T<時刻>

- [参照] ボタンの名前は Google Chrome では [ファイルを選択] になるなど、ブラウザによって異なります。

- 2 必要に応じて、タスクの名前を修正します。
- 3 必要に応じて、ドロップダウンリストから所属を選択します。

タスク登録

名前 2 字以下

ファイル 参照... : 1 'ルを一つ指定

所属 共有 3

WinActor 指定なし

タイムアウト 数値0（無制限）、または数値60秒以上（1分）86400秒以下（1日）

種別	日付指定日	実行時間
実行指定	日時指定 <input type="text" value="2019-05-13"/>	HH : MM

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

OK

➤ ファイルの管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の6章を参照してください。

3. シナリオを実行する WinActor を指定します。

- 1 「WinActor」の [シナリオを実行する WinActor を指定する] ボタンをクリックします。

タスク登録

名前 64文字以下

ファイル 参照... ファイルを一つ指定

所属 共有

WinActor 指定なし 1

タイムアウト 数値0（無制限）、または数値60秒以上（1分）86400秒以下（1日）

種別	日付指定日	実行時間
実行指定	日時指定 <input type="text" value="2019-05-13"/>	HH : MM

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

OK

WinActor の選択画面が表示されます。

② 「検索結果一覧」で、シナリオを実行したい WinActor にチェックを付けます。



- 「検索条件」エリアでは、条件を指定して WinActor を検索できます。
>> WinActor の検索方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『2.3 情報を検索する』を参照してください。
- [すべてのチェックを外す] ボタンをクリックすると、すべての WinActor の選択を解除できます。[すべて選択する] ボタンをクリックすると、すべての WinActor を選択できます。[キャンセル] ボタンをクリックすると、選択せずに画面を閉じることができます。

③ [選択確定] ボタンをクリックします。

検索条件

WinActor ID 完全一致 [] 英数字記号32文字以下

名前 完全一致 [] 512文字以下

状態 停止 再起動中 起動途中 ライセンス失効 起動
 ユーザ操作中 シナリオ実行中 エラー停止 次のシナリオ実行の準備中
 通信エラー

所属 [] []

機能タグ 完全一致 [] 64文字以下

更新日時 次の範囲内 [yyyy-mm-dd] - [yyyy-mm-dd]

検索結果一覧

	名前	状態	所属	機能タグ	更新日時
<input checked="" type="checkbox"/>	WinActor01@WinActor01	起動			2019/05/13 09:23:52
<input type="checkbox"/>	kanda	停止	TEST		2019/05/10 20:27:24
<input type="checkbox"/>	takahashi@DESKTOP	停止			2019/05/10 11:01

② [すべてのチェックを外す] [すべて選択する] [選択確定]

「WinActor」にシナリオを実行する WinActor が設定されます。

- >>** シナリオの管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の7章を参照してください。

4. 「実行指定」でスケジュールを実行するタイミングを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

タスク登録

名前: タスク 2019/05/13T09:15:00 (64文字以下)

ファイル: C:\Users\WinActor01\Docum... (参照... ファイルを一つ指定)

所属: 共有

WinActor: WinActor01@WinActor01 (シナリオを実行するWinActorを指定する)

タイムアウト: 1800 (数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日))

実行指定: 即時 (種別)

アーカイブ: シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ: シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時: シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

OK

➡ スケジュールの管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の8章を参照してください。

タスクが登録され、ダッシュボードが表示されます。

5. ダッシュボードのタスクカレンダーに、登録されたタスクが表示されます。

WinActor Manager on Cloud

winactor01 さん | パスワード変更 | ログアウト

ダッシュボード

- 登録WinActor数: 115
- 起動WinActor数: 1
- 今月の通信量: 47.04 MB
- 先月の通信量: 514.17 MB
- 待機中タスク数: 17
- 累計タスク数: 3,914
- フル機能版: 1
- 実行版: 134
- 管理実行版: 153
- ファイル数: 134
- シナリオ数: 153
- ファイルサイズ合計: 354.88 MB
- 異常WinActor数: 2
- 異常タスク数: 5
- 実行中タスク数: 0

タスクカレンダー

前週 今日 翌週

2019年5月12日 - 5月18日

月表示 週表示 日表示

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日
	タスク登録	タスク登録	タスク登録	タスク登録	タスク登録	タスク登録

タスク 2019/05/13...

6. 登録されたタスクをクリックすると、タスクの詳細情報が表示されます。

詳細情報 ⓘ ▲

タスクID 8nF3-3h8-KiuVJhCezqp0g

名前 タスク 2019/05/20T09:35:49

所属 NTTAT

シナリオ名 [タスク 2019/05/20T09:35:49](#) ↗

状態 待機中

データ一覧ファイル

入力パラメータ

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル

出力パラメータ

生成日時 2019/05/20 09:37:18

開始日時

終了日時

更新日時 2019/05/20 09:37:18

実行時間(秒) 0

実行予定WinActor [WinActor01@WinActor01](#) ↗

WinActor

スケジュール [タスク 2019/05/20T09:35:49](#) ↗

スケジュール時刻 2019/05/21 12:00:00

エラー

中断 

2. 複数のシナリオをまとめて実行するには

WinActor Manager では、複数のシナリオを連続して実行することができます。

ここでは、連続して実行するためのシナリオの作成方法と、WinActor Manager へのシナリオの登録方法について説明します。

2.1 シナリオを準備する

WinActor で、連続して実行したいシナリオを、個別のファイルとして作成しましょう。

シナリオ GoTo ライブラリを利用すると、次に実行するシナリオファイル名を指定できます。

ここでは、「main.ums5」と「scenario2.ums5」という2つのシナリオを連続して実行する例について説明します。



複数のシナリオを実行する場合、シナリオファイルを ZIP 形式のファイルとして圧縮します。実行すると、最初に「main.ums5」が呼び出されます。

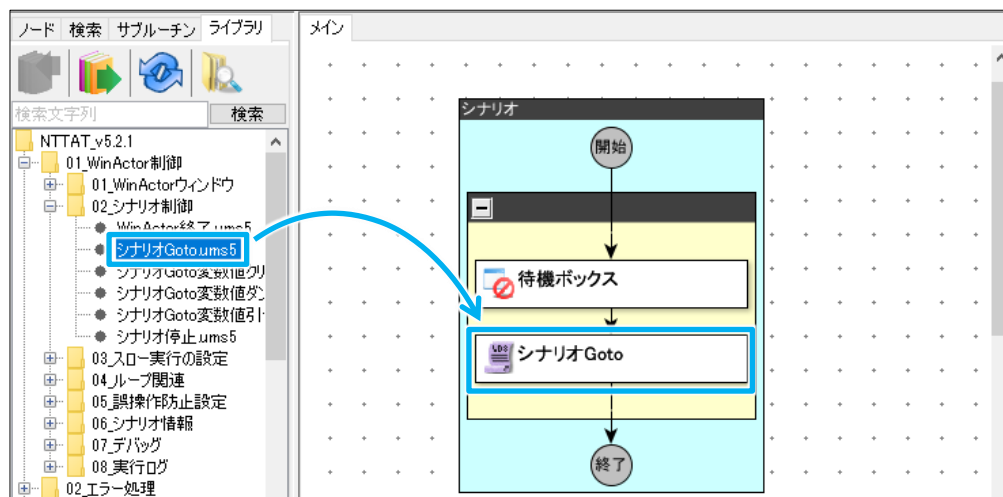


WinActor の操作方法については、『WinActor_操作マニュアル』を参照してください。

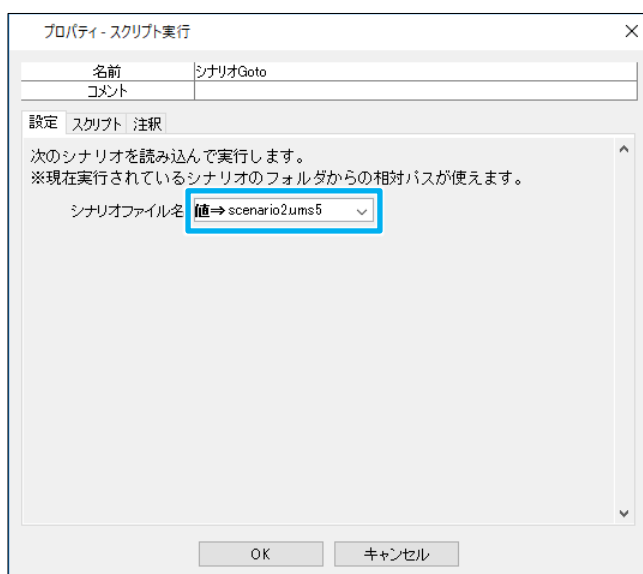
Steps

1. 1 番目に実行するシナリオを作成します。

- シナリオの末尾に、シナリオ GoTo ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。

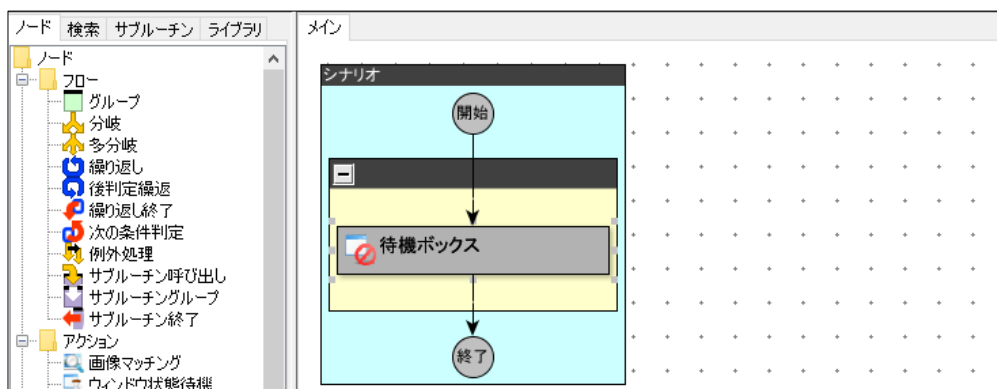


- シナリオ GoTo の「プロパティ」画面で、「シナリオファイル名」の値に、次に実行するシナリオファイル名を設定します。



- 作成したシナリオを「main.ums5」という名前で保存します。

- 2番目に実行するシナリオを作成して、「main.ums5」で指定した「scenario2.ums5」という名前で保存します。



- Step 1~2 で作成した 2 つのシナリオファイルを、ZIP 形式のファイルとして圧縮します。





2.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録して実行しましょう。

Steps

1. ZIP 形式でまとめたシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。

 ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.5 ファイルをアップロードする』を参照してください。



検索条件 


ファイルID 英数字記号32文字以下







ファイル名 512文字以下

所属

登録日時 -

検索結果一覧 

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	ダウンロード	削除
待機BOX2連続GOTO.zip	NTTAT	2.64 KB	2019/05/13 09:53:49		
メモ帳への文字入力(上書き型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/13 09:31:21		
メモ帳への文字入力(追記型).ums5		0.73 KB	2019/05/13 09:29:17		
メモ帳への文字入力(追記型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/09 15:03:45		
メモ帳への文字入力(上書き型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/09 11:24:49		

2. 「待機ボックス 2 連続 GOTO.zip」 をシナリオとして登録します。

>> シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- 1 シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の [参照] ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。

新規作成

名前 64文字以下

所属 共有

ファイル名 **参照** シナリオファイルを一指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下



シナリオファイルの選択画面では、以下のように、ファイル名に「ums」の部分一致検索条件が設定されているため、標準では検索結果一覧に拡張子が「zip」のファイルが表示されません。この条件を削除して検索し、ZIP ファイルを選択してください。

検索条件

ファイルID 完全一致 英数字記号32文字以下

ファイル名 部分一致 512文字以下

所属

登録日時 次の範囲内 -

- ② 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "新規作成" (New Creation) with the following fields and options:

- 名前** (Name): Input field containing "待機BOX2連続GOTO", with a note "64文字以下" (64 characters or less).
- 所属** (Affiliation): Two dropdown menus, the first containing "NTTAT".
- ファイル名** (File Name): Input field containing "待機BOX2連続GOTO.zip", a "参照" (Reference) button, and a note "シナリオファイルの一つ指定" (Specify one scenario file).
- パスワード** (Password): Input field, with a note "英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)" (Alphanumeric characters 64 characters or less (leave blank if not set)).
- 入力パラメータ** (Input Parameters): A plus sign button (+).
- 出力パラメータ** (Output Parameters): A plus sign button (+).
- タイムアウト** (Timeout): Input field containing "1800", with a note "数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日)" (Numeric 0 (unlimited), or numeric 60 seconds or more (1 minute) 86400 seconds or less (1 day)).
- メモ** (Memo): Input field, with a note "200文字以下" (200 characters or less).
- 機能タグ** (Function Tag): Input field, with a note "64文字以下" (64 characters or less).
- シナリオタグ** (Scenario Tag): Input field, with a note "64文字以下" (64 characters or less).

An "OK" button is located in the bottom right corner of the dialog box.

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

3. シナリオの「スケジュール登録」エリアで、「WinActor」で実行する WinActor を指定し、「実行指定」で実行するタイミングを設定して、[OK] ボタンでシナリオをスケジュール登録します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID aN1vCNBjepH5bEQcXCqVJQ

シナリオ名 待機BOX2連続GOTO

WinActor

入力パラメータ

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

「実行指定」で指定した日時になると、登録したシナリオが実行されます。

4. 「タスク」画面で、タスクの状態を確認します。

名前	所属	状態	生成日時	開始日時	終了日時	実行時間 (秒)	更新日時
待機BOX2連続GOTO	NTTAT	🟢 待機中	2019/05/13 1 1:05:15			0	2019/05/13 1 1:05:15
メモ帳への文字入力 (追記型)	NTTAT	✅ 正常 終了	2019/05/10 0 9:32:39	2019/05/10 0 9:33:04	2019/05/10 0 9:33:05	1	2019/05/10 0 9:33:05
メモ帳への文字入力 (追記型)	NTTAT	🟡 中断	2019/05/10 0 9:06:17		2019/05/10 0 9:07:47	0	2019/05/10 0 9:07:47
メモ帳への文字入力 (追記型)	NTTAT	✅ 正常 終了	2019/05/09 1 5:29:05	2019/05/09 1 5:29:29	2019/05/09 1 5:29:30	0	2019/05/09 1 5:29:30

3. 機能タグを利用して実行する WinActor を選択するには

WinActor Manager には、機能タグが設定されている WinActor でのみ、同じ機能タグが設定されているシナリオを実行する仕組みがあります。

機能タグによって、複数の WinActor を業務ごとにグループ化して、タスクを割り当てるのが可能となります。



機能タグには、任意の文字列を設定できます。ただし、機能させるには、WinActor とシナリオの機能タグは、完全一致している必要があります。

ここでは、WinActor Manager で管理している WinActor およびシナリオの情報を更新し、「データ登録」という機能タグを設定して、スケジュールを登録してみましよう。

Steps

1. WinActor に機能タグを設定します。
 - ① WinActor Manager で、「WinActor」画面を表示します。
 - ② 「検索結果一覧」エリアで機能タグを設定したい WinActor を選択し、「情報更新」エリアを表示します。
 - ③ 「機能タグ」に機能タグを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

情報更新 ⓘ ▲

WinActor ID FUa5o6vjAgqkK22I7VR7_Q

名前 WinActor01@WinActor01
512文字以下

ライセンス有効期限 2019/09/06 16:07:40

WinActorバージョン WinActor rev.5.3.1 FL フル機能版

PC名 WinActor01

IPアドレス 

OS名 Windows 10

画面サイズ 1920x1080

状態 起動

新規タスクの割当可否 新規タスクの割当可能

実行中タスク

所属 共有 ▼

機能タグ
512文字以下

メモ
200文字以下

登録日時 2019/04/23 15:57:56

更新日時 2019/05/13 11:29:08

OK

WinActor に機能タグが設定されます。

>> WinActor の管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の5章を参照してください。

2. シナリオに機能タグを設定します。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアで機能タグを設定したいシナリオを選択し、「情報更新」エリアを表示します。
- 3 「機能タグ」に機能タグを入力して、「OK」ボタンをクリックします。

情報更新 ① ▲

シナリオID EOkKhj5lxSCT27FL-McUg
親シナリオID 08d4NZ47vWBYpqrRn0r-NA

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルの一つ指定

パスワード パスワードを更新する 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

修正内容 200文字以下

シナリオ登録日時 2019/05/09 16:22:54
更新日時 2019/05/09 16:22:54

修正内容 または シナリオタグ 以外が更新されている場合は、シナリオに関連付けられたスケジュールを無効にする。

シナリオに機能タグが設定されます。



「機能タグ」を設定してシナリオを更新すると、更新元のシナリオを親シナリオとして、別のシナリオが作成されます。

必要に応じて、「修正内容」を入力し、「シナリオタグ」に情報を入力して、履歴を管理できるようにするとよいでしょう。

>> シナリオの管理の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の7章を参照してください。

3. 機能タグを設定したシナリオを選択し、スケジュールを登録します。

- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアで機能タグを設定したシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ 「スケジュール登録」ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID ebNwE0ZW6Tf4tSFjtb5AMw

親シナリオID [EOKKhj5lx5CT27FL-McUg](#)

名前 メモ帳への文字入力(追記型)

所属 NTTAT

ファイル名 [メモ帳への文字入力\(追記型\).ums5](#)

パスワード パスワード設定なし

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 2000

メモ

機能タグ データ登録

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor ID

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

平均実行時間 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor ID

編集者 winactor01

シナリオ登録日時 2019/05/13 11:35:28

更新日時 2019/05/13 11:35:28

スケジュール登録 履歴

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

- 4 必要に応じて「実行指定」やその他の設定をして、[OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID ebNwE0ZW6Tf4tSFJtb5AMw

シナリオ名

WinActor 指定なし

入力パラメータ

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

スケジュールが登録されます。

タスクの実行タイミングになると、シナリオの機能タグと一致した WinActor でシナリオが実行されます。



複数の WinActor に同じ機能タグが設定されている場合、そのうち 1 台の WinActor でシナリオが実行されたあとに、タスクは終了します。完全一致する機能タグがない場合、タスクは待機中となります。



シナリオの登録の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。



「スケジュール登録」エリアの「シナリオを実行する WinActor を指定する」ボタンをクリックすると、機能タグが検索条件に指定された状態で、WinActor の選択画面が表示されます。

検索条件

WinActor ID 完全一致 英数字記号32文字以下

名前 完全一致 512文字以下

状態 停止 再起動中 起動途中 ライセンス失効 起動
 ユーザ操作中 シナリオ実行中 エラー停止 次のシナリオ実行の準備中
 通信エラー

所属

機能タグ 完全一致 データ登録 4文字以下

更新日時 次の範囲内 yyyy-mm-dd - yyyy-mm-dd

検索結果一覧

名前	状態	所属	機能タグ	更新日時
<input type="checkbox"/> WinActor01@WinActor01	<input checked="" type="checkbox"/> 起動		データ登録	2019/05/23 10:43:59

4. シナリオと変数の値をやりとりするには

WinActor Manager の指示で WinActor で動作させるシナリオに、WinActor Manager から変数の値を渡す方法と、シナリオの変数の値を WinActor Manager で受け取る方法について説明します。

ここでは、例として、入力パラメータの変数として受け取った 2 つの文字列を連結し、出力パラメータの変数の値として出力します。

4.1 シナリオを準備する

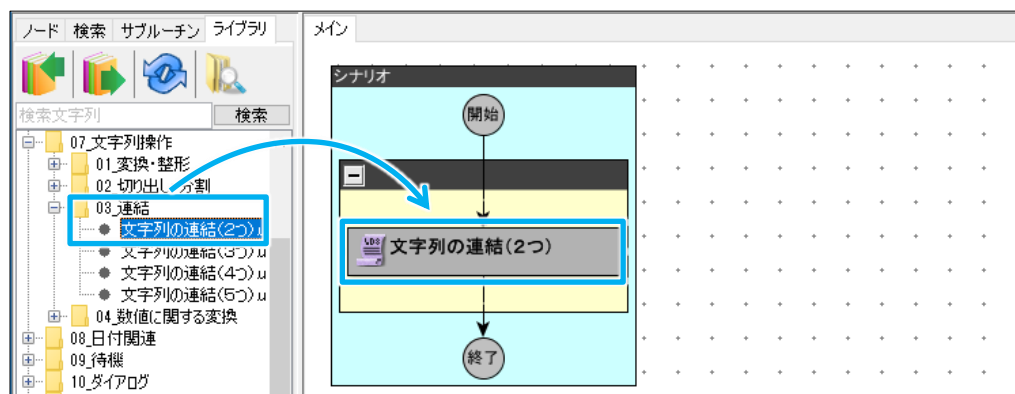
WinActor で、2 つの文字列を連結してダイアログボックスに表示するシナリオを作成しましょう。

ここでは、WinActor でシナリオを作成して動作を確認したあとに、WinActor Manager からの指示でシナリオを実行するための設定をします。

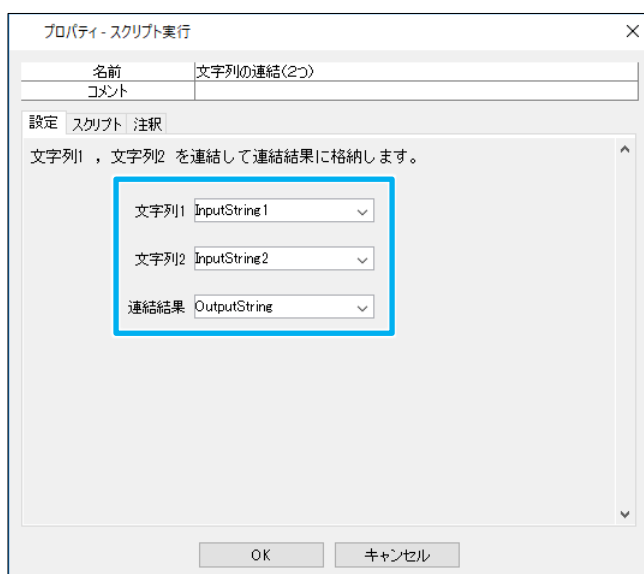
➡ WinActor の操作方法については、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。

Steps

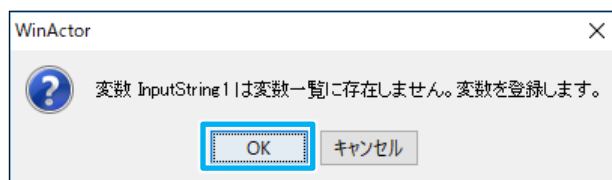
1. WinActor で、文字列を連結するためのライブラリを設定します。
 - ① 「ライブラリ」タブから、「文字列の連結 (2つ)」ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。



- 2 「文字列の連結 (2つ)」の「プロパティ」画面で、変数として使用する「文字列1」「文字列2」「連結結果」を設定します。

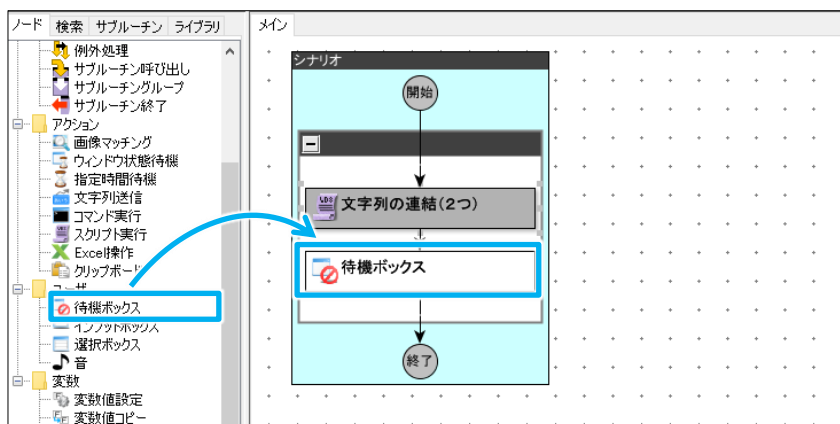


- ドロップダウンリストからアスタリスク (*) を選択すると、変数を入力できるようになります。
- 「プロパティ・スクリプト実行」画面で [OK] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示され、変数を新しく登録できます。

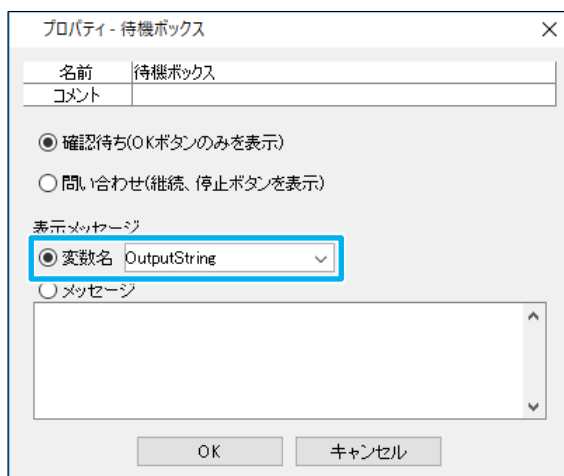


2. 連結した文字列を表示するダイアログボックスを設定します。

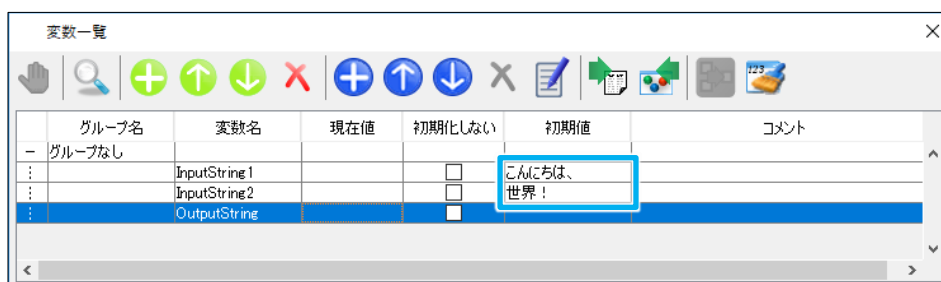
- 1 「ノード」タブから、「待機ボックス」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- 2 「待機ボックス」ノードの「プロパティ」画面で、「変数名」に「OutputString」を設定します。



3. 「変数一覧」画面で、変数「InputString1」と「InputString2」の初期値を入力します。



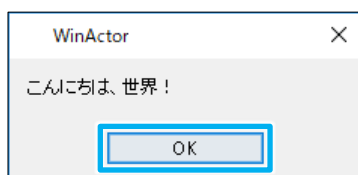
ここで入力した初期値は、WinActor でシナリオを実行したときに表示されます。WinActor Manager からの指示でシナリオを実行する場合の値は、スケジュールを登録する際に入力します。

4. [実行] ボタンをクリックして、シナリオの動作を確認してみましょう。



ダイアログに 2 つの変数の初期値が連結して表示されたら、シナリオは正しく作成されています。

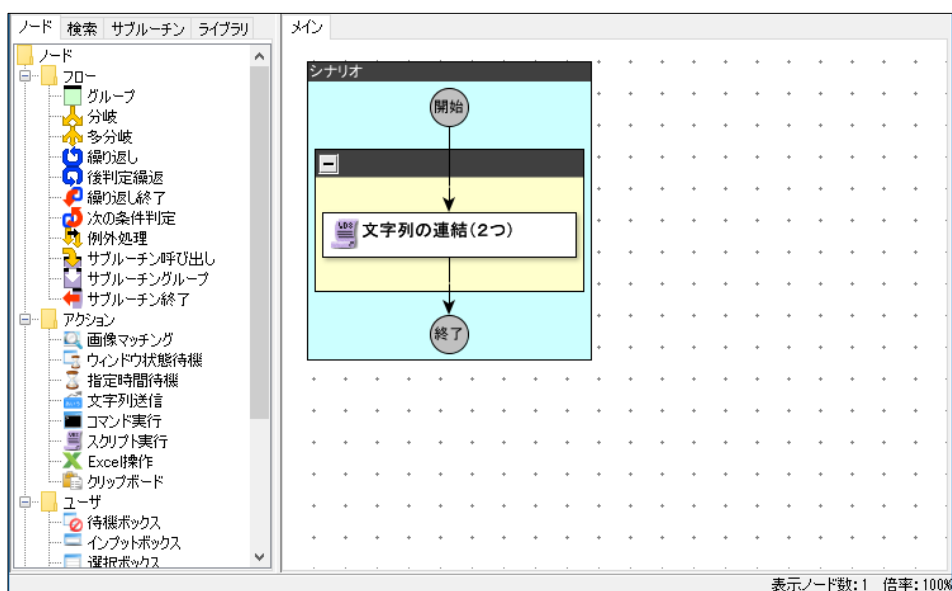
5. [OK] ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。



6. 最後に、WinActor Manager からの指示でシナリオを動かすために、シナリオを修正して「待機ボックス」ノードを削除します。



この操作は、WinActor Manager からの指示でシナリオを実行する場合は、ダイアログの [OK] ボタンをクリックできずに、入力待ちの状態になるためです。



7. シナリオを保存します。

4.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録して実行しましょう。

Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。

>> ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.5 ファイルをアップロードする』を参照してください。

検索条件

ファイルID 完全一致 英数字記号32文字以下

ファイル名 完全一致 512文字以下

所属

登録日時 次の範囲内 yyyy-mm-dd - yyyy-mm-dd

検索結果一覧

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	ダウンロード	削除
文字列連結.ums5	NTTAT	1.14 KB	2019/05/13 13:27:12	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>
待機BOX2連続GOTO.zip	NTTAT	2.64 KB	2019/05/13 09:53:49	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>
メモ帳への文字入力(上書き型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/13 09:31:21	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>
メモ帳への文字入力(追記型).ums5		0.73 KB	2019/05/13 09:29:17	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>
メモ帳への文字入力(追記型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/09 15:03:45	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>
メモ帳への文字入力(上書き型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/09 11:24:49	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>

2. 「文字列連結.ums5」をシナリオとして登録します。

>> シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- 1 シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の [参照] ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。



新規作成

名前 64文字以下

所属 共有

ファイル名 **参照** シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ **+**

出力パラメータ **+**

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

OK

- 2 「入力パラメータ」の [+] ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputString1」を設定し、[OK] ボタンをクリックします。
同様に、「InputString2」も設定します。



入力パラメータの名前には、シナリオを作成したときに変数名として指定した文字列を使用してください。



新規作成

名前 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 **参照** シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ **+**

出力パラメータ **+**

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

OK

入力パラメータ ①

名前 255文字以下

型 文字列 ファイル

必須 必須 省略可

省略値 1024文字以下

説明 200文字以下

新規作成 ① ▲

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルを一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

	名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須		
	InputString2	文字列	必須		

	名前	型	説明
出力パラメータ	OutputString	文字列	

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

- ③ 「出力パラメータ」の[+]ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの出力用の変数「OutputString」を設定します。



出力パラメータの名前には、シナリオを作成したときに変数名として指定した文字列を使用してください。

新規作成 ② ▲

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルを一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

	名前	型	必須	省略値	説明								
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須		<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/>								
	InputString2	文字列	必須		<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/>								
	<input type="button" value="+"/> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>名前</th><th>型</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>出力パラメータ</td><td>OutputString</td><td>文字列</td><td><input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/></td></tr></tbody></table>						名前	型	説明	出力パラメータ	OutputString	文字列	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/>
	名前	型	説明										
出力パラメータ	OutputString	文字列	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/>										

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

- ④ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成 ① ▲

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルを一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

	名前	型	必須	省略値	説明	
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須		<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/>	
	InputString2	文字列	必須		<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/>	
	<input 2"="" type="button" value="+</input></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="/> 出力パラメータ	OutputString	文字列			<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="✎"/> <input type="button" value="−"/>
<input text"="" type="button" value="1800"/> 数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日) <p>メモ <input type="text"/> 200文字以下</p> <p>機能タグ <input type="text"/> 64文字以下</p> <p>シナリオタグ <input type="text"/> 64文字以下</p> <p><input type="button" value="OK"/></p>						

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

3. シナリオをスケジュール登録します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 「スケジュール登録」ボタンをクリックします。

詳細情報 ① ▲

シナリオID VroHKrNjidWTaxBDGjMYPa

親シナリオID

名前 文字列連結

所属 NTTAT

ファイル名 [文字列連結.ums5](#)

パスワード パスワード設定なし

名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須	
	InputString2	文字列	必須	

名前	型	説明
出力パラメータ	OutputString	文字列

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor ID

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

平均実行時間 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor ID

編集者 winactor01

シナリオ登録日時 2019/05/13 13:37:49

更新日時 2019/05/13 13:37:49

スケジュール登録 履歴 編集 削除

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

- 4 [シナリオを実行する WinActor を指定する] ボタンをクリックし、シナリオを実行する WinActor を選択します。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID VroHKrNjidWTaxBDGjMYPa

シナリオ名

WinActor

	名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須		1024文字以下
	InputString2	文字列	必須		1024文字以下

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

OK

- 5 「InputString1」と「InputString2」の「値」に、それぞれ入力パラメータの値を入力します。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID VroHkrNjidWTaxBDGjMYPa

シナリオ名 文字列連結

WinActor
WinActor01@WinActor01

	名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須	<input type="text" value="WinActor Managerで、シナリオを実行しました。"/>	1024文字以下
	InputString2	文字列	必須		1024文字以下

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

- ⑥ 必要に応じて「実行指定」やその他の設定をして、[スケジュール登録] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID VroHkrNjidWTaxBDGjMYPa

シナリオ名 文字列連結

WinActor
WinActor01@WinActor01

	名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須	WinActor Managerで、	1024文字以下
	InputString2	文字列	必須	シナリオを実行しました。	1024文字以下

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

スケジュールが登録されます。

「実行指定」で指定した日時になると、登録したシナリオが実行されます。

4.3 結果を確認する

シナリオの実行結果を確認してみましょう。

Steps

1. タスクの状態を確認します。



画面は自動的に更新されません。最新の状況を反映するには、[検索] ボタンをクリックするか、[リロード] ボタンをクリックしてください。

① 「タスク」画面で、タスクの状態が「正常終了」であることを確認します。

検索結果一覧							
名前	所属	状態	生成日時	開始日時	終了日時	実行時間 (秒)	更新日時
文字列連結	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/13 1 3:45:44	2019/05/13 1 3:46:58	2019/05/13 1 3:47:00	1	2019/05/13 1 3:47:00
メモ帳への文字入力 (追記型)	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/13 1 1:39:09	2019/05/13 1 1:39:15	2019/05/13 1 1:39:15	0	2019/05/13 1 1:39:15
待機BOX2連続GOTO	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/13 1 1:05:15	2019/05/13 1 1:29:02	2019/05/13 1 1:29:08	5	2019/05/13 1 1:29:08
メモ帳への文字入力 (追記型)	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/10 0 9:32:39	2019/05/10 0 9:33:04	2019/05/10 0 9:33:05	1	2019/05/10 0 9:33:05

- ② タスクの「詳細情報」エリアで、「出力パラメータ」の「値」に入力パラメータの「値」が連結されていることを確認します。

詳細情報

タスクID G0J18GucwJyFj1lgqe3Yg

名前 文字列連結

所属 NTTAT

シナリオ名 [文字列連結](#)

状態 正常終了

データ一覧ファイル

	名前	型	値
入力パラメータ	InputString1	文字列	WinActor Managerで、
	InputString2	文字列	シナリオを実行しました。

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル

	名前	型	値
出力パラメータ	OutputString	文字列	WinActor Managerで、シナリオを実行しました。

生成日時 2019/05/13 13:45:44

開始日時 2019/05/13 13:46:58

終了日時 2019/05/13 13:47:00

更新日時 2019/05/13 13:47:00

実行時間(秒) 1

実行予定WinActor [WinActor01@WinActor01](#)

WinActor [WinActor01@WinActor01](#)

スケジュール [文字列連結](#)

スケジュール時刻 2019/05/13 13:45:44

エラー

中断 削除



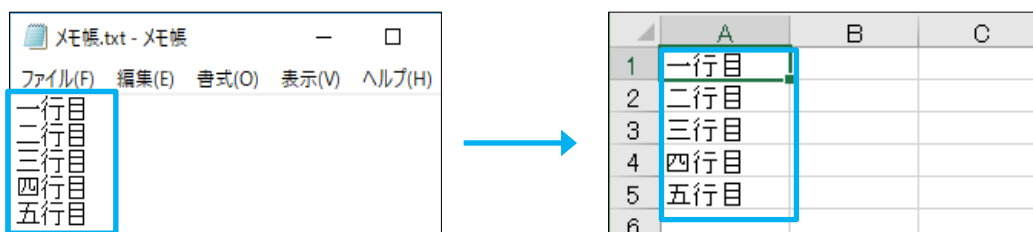
WinActor Manager の指示で WinActor でシナリオを実行する場合、WinActor で連結された文字列は、出力用の変数「OutputString」によって、WinActor から WinActor Manager に渡されます。

5. シナリオと入出力ファイルをやりとりするには

WinActor Manager と WinActor で、入出力ファイルをやりとりする方法について説明します。

ここでは、以下のようにテキストファイルに記述されている情報を Excel へ転記するシナリオを、WinActor Manager からの指示で WinActor に実行させます。出力結果の Excel ファイルは、出力パラメータとして指定することで WinActor Manager に渡され、保存されます。

図 4.3-1 入力ファイル（テキスト）と出力ファイル（Excel）



あらかじめ、メモ帳などで入力ファイルを作成しておくようにしてください。

5.1 シナリオを修正する

ここでは、例として、WinActor チュートリアル中級編で使用している「メモ帳から Excel へ転記」のシナリオを、WinActor Manager の入力／出力ファイルで指定できるように修正します。また、行数をカウントして変数に入れるための処理を追加します。

シナリオは WinActor Manager からの指示で遠隔で実行されるため、以下の処理を加える必要があります。

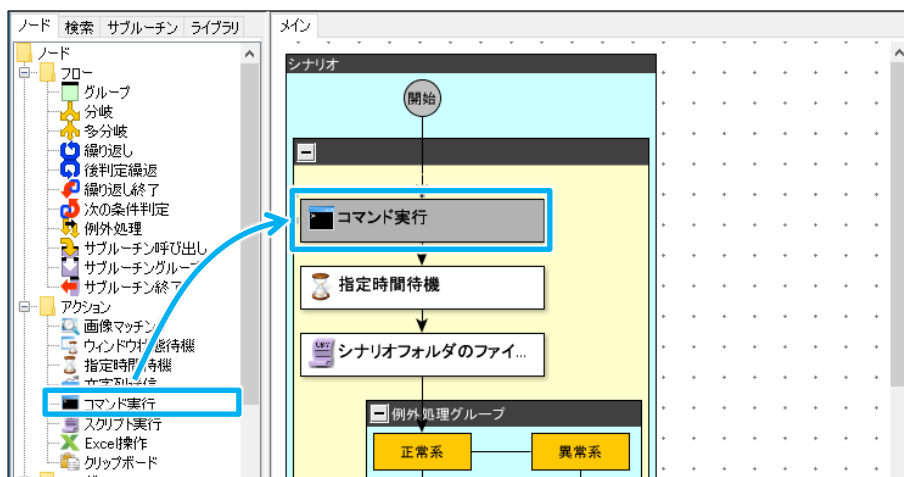
- メモ帳で入力ファイルを開く
- 出力ファイルのファイル名を設定する
- Excel ファイルに値を設定する

Steps

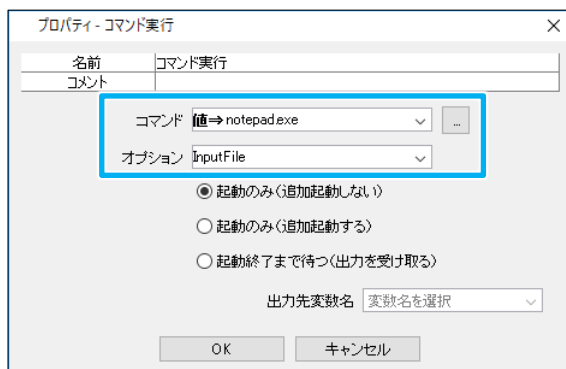
1. WinActor で、メモ帳から Excel へ転記するためのシナリオを作成します。
 - シナリオの基本的な作成方法については、『WinActor チュートリアル中級編②－メモ帳から Excel へ転記－』を参照してください。

2. 「コマンド実行」ノードを追加し、メモ帳で入力ファイルを開くための設定をします。

- 1 「ノード」タブから、「コマンド実行」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- 2 「コマンド実行」の「プロパティ」画面で、実行するコマンドに「notepad.exe」を指定します。
また、「オプション」に、入力ファイルを開くための変数「InputFile」を設定します。

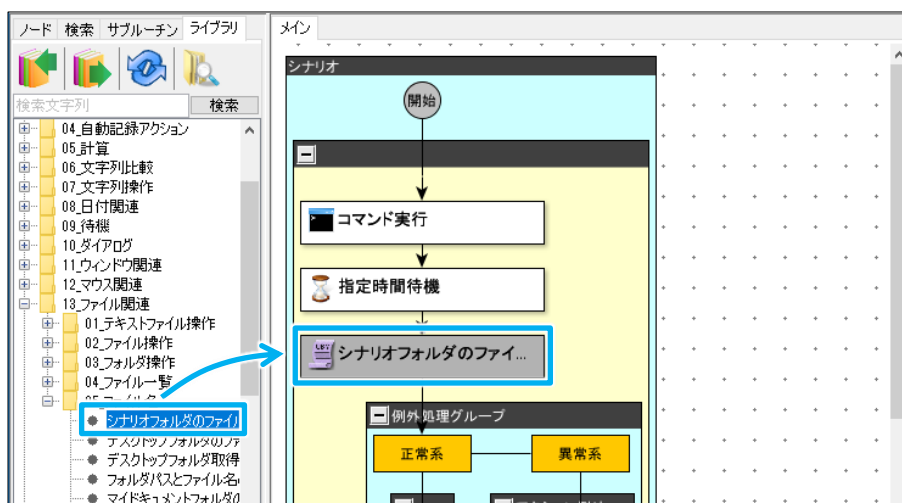


3. 「シナリオフォルダのファイルパス」ライブラリを追加し、出力ファイル名を設定します。

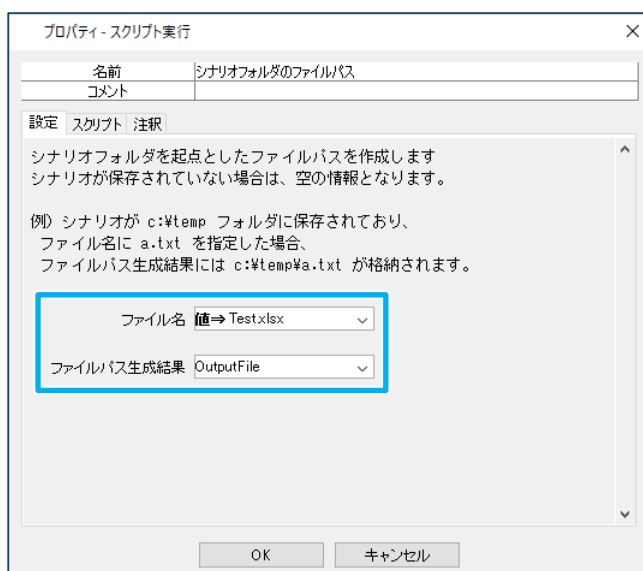


出力ファイルは、シナリオを実行したあとに、WinActor Manager の「ファイル」に保存されます。そのため、シナリオでファイル名を指定して出力ファイルを作成するための処理を追加する必要があります。

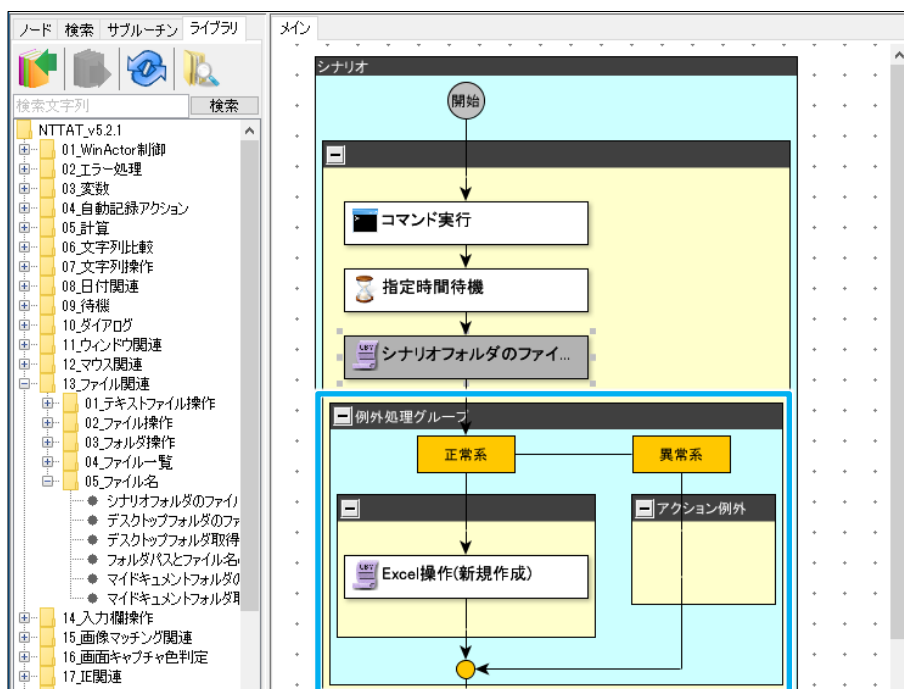
- 1 「ライブラリ」タブから、「シナリオフォルダのファイルパス」ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。



- 2 「ファイル名」に、WinActor Manager へ出力するためのファイル名を設定します。また、「ファイルパス生成結果」に、出力ファイルの変数「OutputFile」を設定します。

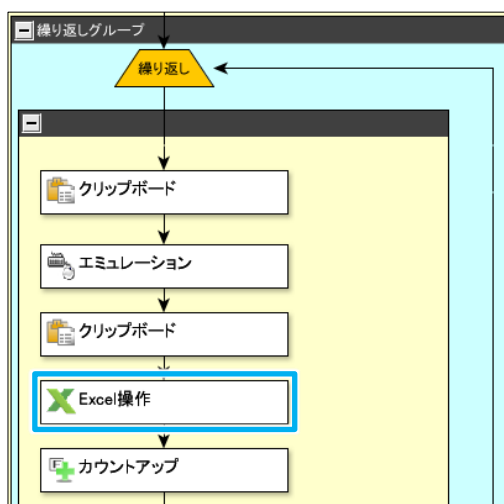


- ③ 「例外処理グループ」として、出力ファイルが存在しない場合にのみ新規作成するように設定します。

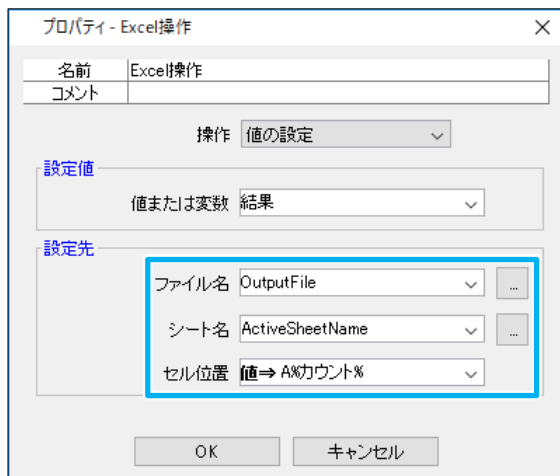


4. 「Excel 操作」ノードのプロパティを設定します。

- ① シナリオの「Excel 操作」ノードをダブルクリックして、「Excel 操作」ノードのプロパティを表示します。

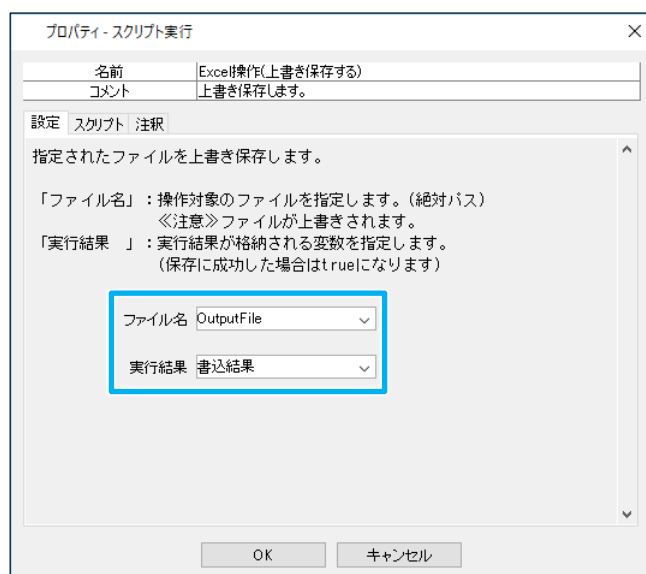
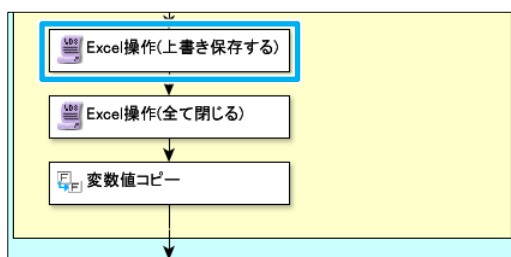


- 2 クリップボードにコピーした値を、変数「OutputFile」で指定した Excel ファイルのカウント行に記録するために、「ファイル名」「シート名」「セル位置」を設定します。

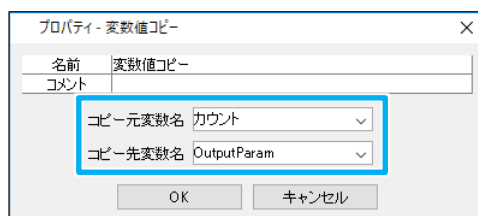
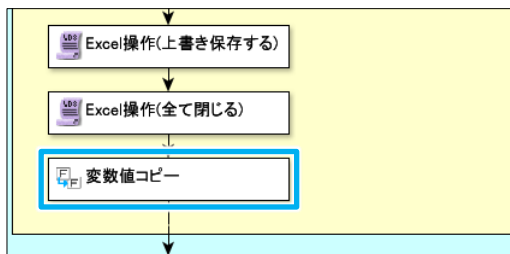


5. Excel ファイルへの出力結果をファイルに保存し、変数「OutputParam」に繰り返し数をコピーするための設定をします。

- 1 シナリオの「Excel 操作（上書き保存する）」ノードのプロパティで、変数「OutputFile」で指定される Excel ファイルを保存するための設定をします。



- ② カウントを変数「OutputParam」にコピーするための設定をします。これによって、変数「OutputParam」に処理回数+1が設定されます。



6. 「変数一覧」画面で、入力用の変数「InputFile」、出力用の変数「OutputFile」と「OutputParam」が設定されていることを確認します。



変数には、初期値を設定できます。

グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	コメント
グループなし	カウント		<input type="checkbox"/>	1	
	結果		<input type="checkbox"/>		
	InputFile		<input type="checkbox"/>		
	OutputFile		<input type="checkbox"/>	result.xlsx	
	書込結果		<input type="checkbox"/>		
	ActiveSheetName		<input type="checkbox"/>		
	OutputParam		<input type="checkbox"/>		

7. シナリオを保存します。

5.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録して実行しましょう。

Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。
また、入力ファイルとなるテキストファイルもアップロードします。

➤➤ ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.5 ファイルをアップロードする』を参照してください。

検索結果一覧

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	ダウンロード	削除
ファイル型パラメータ.ums5	NTTAT	11.67 KB	2019/05/17 11:49:34		
メモ帳.txt	NTTAT	0.06 KB	2019/05/17 11:49:17		
文字列連結.ums5	NTTAT	1.14 KB	2019/05/13 13:27:12		
待機BOX2連続GOTO.zip	NTTAT	2.64 KB	2019/05/13 09:53:49		
メモ帳への文字入力(上書き型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/13 09:31:21		
メモ帳への文字入力(追記型).ums5		0.73 KB	2019/05/13 09:29:17		
メモ帳への文字入力(追記型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/09 15:03:45		
メモ帳への文字入力(上書き型).ums5	NTTAT	0.73 KB	2019/05/09 11:24:49		
wait30sec_and_error.ums5	NTTAT	1.19 KB	2019/04/24 13:38:38		
wait70sec.ums5	NTTAT	0.91 KB	2019/04/24 11:16:16		

ページあたりの件数 10 138 件中 1 - 10 件 <<< < 1 2 3 4 5 > >>>

新規作成

2. アップロードしたシナリオファイルをシナリオとして登録します。

>> シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- 1 シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。

新規作成

名前 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 **参照** シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 1800 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

- 2 「入力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputFile」を設定します。「型」には「ファイル」を設定します。



入力パラメータの名前には、シナリオを作成したときにオプションとして指定した文字列を使用してください。

新規作成

名前 ファイル型パラメータ 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 ファイル型パラメータ.ums5 **参照** シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

	名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputFile	ファイル	必須		

出力パラメータ

タイムアウト 1800 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

- ③ 「出力パラメータ」の [+] ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの出力用の変数「OutputFile」を設定します。「型」には「ファイル」を設定します。続けて、カウントを保存するための変数「OutputParam」の設定を追加します。「型」には「文字列」を設定します。



出力パラメータの名前には、シナリオを作成したときにファイル名、変数名として指定した文字列を使用してください。

新規作成 ① ▲

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

	名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputFile	ファイル	必須		
+					
出力パラメータ	OutputFile	ファイル			
	OutputParam	文字列			

+

タイムアウト 数値0（無制限）、または数値60秒以上（1分）86400秒以下（1日）

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

- ④ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成 ① ▲

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputFile	ファイル	必須	
<input type="button" value="+"/>				
名前	型	説明		
出力パラメータ	OutputFile	ファイル		
	OutputParam	文字列		
<input type="button" value="+"/>				

タイムアウト 数値0（無制限）、または数値60秒以上（1分）86400秒以下（1日）

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

3. シナリオをスケジュール登録します。

>> スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 [スケジュール登録] ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID z39MXaulz8OuKnyDZxyC3Q

親シナリオID

名前 ファイル型パラメータ

所属 NTTAT

ファイル名 [ファイル型パラメータ.ums5](#)

パスワード パスワード設定なし

入力パラメータ

名前	型	必須	省略値	説明
InputFile	ファイル	必須		

出力パラメータ

名前	型	説明
OutputFile	ファイル	
OutputParam	文字列	

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor ID

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

平均実行時間 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor ID

編集者 winactor01

シナリオ登録日時 2019/05/17 13:14:33

更新日時 2019/05/17 13:14:33

スケジュール登録 履歴  

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

- ④ 「シナリオを実行する WinActor を指定する」 ボタンをクリックし、シナリオを実行する WinActor を選択します。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID z39MXaulz8OuKnyDZxYc3Q

シナリオ名

WinActor

名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputFile	ファイル	必須	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/> ファイルを一つ指定

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、ここで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

OK

- ⑤ 「入力パラメータ」の「InputFile」の「参照」ボタンをクリックし、入力ファイルを選択して設定します。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID z39MXaulz8OuKnyDZxYc3Q

シナリオ名

WinActor

名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputFile	ファイル	必須	<input type="text" value="メモ帳.txt"/> <input type="button" value="参照"/>

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、ここで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

OK

- ⑥ 必要に応じて「実行指定」やその他の設定をして、[OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID z39MXaulz8OuKnyDZXyC3Q

シナリオ名

WinActor

WinActor WinActor01@WinActor01

名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputFile	ファイル	必須	<input type="text" value="メモ帳.txt"/> <input type="button" value="参照"/>

データ一覧ファイル

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

スケジュールが登録されます。

「実行指定」で指定した日時になると、登録したシナリオが実行されます。

5.3 結果を確認する

シナリオの実行結果を確認してみましょう。

Steps

1. タスクの状態を確認します。



画面は自動的に更新されません。最新の状況を反映するには、[検索] ボタンをクリックするか、[リロード] ボタンをクリックしてください。

① 「タスク」画面で、タスクの状態が「正常終了」であることを確認します。

検索結果一覧							
名前	所属	状態	生成日時	開始日時	終了日時	実行時間 (秒)	更新日時
ファイル型パラメータ	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/17 1 4:25:46	2019/05/17 1 4:26:05	2019/05/17 1 4:26:33	27	2019/05/17 1 4:26:33
ポップアップ.ums5	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/17 1 4:02:37	2019/05/17 1 4:02:48	2019/05/17 1 4:02:56	0	2019/05/17 1 4:02:56
文字列連結	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/13 1 3:45:44	2019/05/13 1 3:46:58	2019/05/13 1 3:47:00	1	2019/05/13 1 3:47:00
メモ帳への文字入力(追 記型)	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/13 1 1:39:09	2019/05/13 1 1:39:15	2019/05/13 1 1:39:15	0	2019/05/13 1 1:39:15
待機BOX2連続GOTO	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/13 1 1:05:15	2019/05/13 1 1:29:02	2019/05/13 1 1:29:08	5	2019/05/13 1 1:29:08
メモ帳への文字入力(追 記型)	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/10 0 9:32:39	2019/05/10 0 9:33:04	2019/05/10 0 9:33:05	1	2019/05/10 0 9:33:05
メモ帳への文字入力(追 記型)	NTTAT	⚠ 中断	2019/05/10 0 9:06:17		2019/05/10 0 9:07:47	0	2019/05/10 0 9:07:47
メモ帳への文字入力(追 記型)	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/05/09 1 5:29:05	2019/05/09 1 5:29:29	2019/05/09 1 5:29:30	0	2019/05/09 1 5:29:30
take_10秒待機後異常 終了.ums6	NTTAT	✖ 異常 終了	2019/05/09 0 9:51:24	2019/05/09 0 9:51:37	2019/05/09 0 9:51:38	1	2019/05/09 0 9:51:38
take_1分待機シナリオ	NTTAT	✔ 正常 終了	2019/04/23 1 6:36:01	2019/05/09 0 9:49:04	2019/05/09 0 9:50:06	62	2019/05/09 0 9:50:06

ページあたりの件数 10 395 件中 1 - 10 件

- ② タスクの「詳細情報」エリアで、「入力パラメータ」の値をクリックすると、「ファイル」画面で入力ファイルを確認できます。
また、「出力パラメータ」の値をクリックすると、「ファイル」画面で出力ファイルを確認できます。

詳細情報 ① ▲

タスクID ILQ4vr71U2p28FAnzkcFw
名前 ファイル型パラメータ
所属 NTTAT
シナリオ名 [ファイル型パラメータ](#)
状態 正常終了

データ一覧ファイル

	名前	型	値
入力パラメータ	InputFile	ファイル	5rxmHynXtXrQPqJT3Mi1mA

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない
ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない
異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル

	名前	型	値
出力パラメータ	OutputFile	ファイル	QV5MqNtzT4smOAlyqOnSzw
	OutputParam	文字列	7

生成日時 2019/05/17 14:25:46
開始日時 2019/05/17 14:26:05
終了日時 2019/05/17 14:26:33
更新日時 2019/05/17 14:26:33
実行時間(秒) 27
実行予定WinActor 指定なし
WinActor [WinActor01@WinActor01](#)
スケジュール [ファイル型パラメータ](#)
スケジュール時刻 2019/05/17 14:25:46
エラー

中断 削除



出力内容を確認する場合は、「ファイル」画面から、出力ファイルをダウンロードしてください。

6. 日時以外のタイミングでシナリオを実行するには

WinActor Manager ではスケジュール登録時に「実行指定」で実行するタイミングを指定します。「実行指定」では即時、もしくは指定した日時でシナリオを実行することができますが、日時以外のタイミングでシナリオを実行したい場合があります。

例えば任意のタイミングで作成されるデータがあり、そのデータの登録をきっかけとしてシナリオを実行したい場合などです。WinActor Manager を使うとこのようなケースでもシナリオを実行することができます。

ここではデータを登録したタイミングでシナリオを実行する方法について説明します。

6.1 シナリオを準備する

ここでは、『4.1 シナリオを準備する』で作成した、2つの文字列を受け取り、連結した文字列を出力するシナリオを使って説明します。シナリオの作成方法は『4.1 シナリオを準備する』を参照してください。

6.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

『4.2 シナリオを登録する』の Step2 までの手順を参考にシナリオ登録まで実施してください。ここではスケジュール登録方法から説明します。

Steps

1. シナリオをスケジュール登録します。

>> スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 [スケジュール登録] ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID 9DEfnLVOOhU_Cv_650cDOQ

親シナリオID

名前 文字列連結

所属 NTTAT

ファイル名 文字列連結.ums6

パスワード パスワード設定なし

名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須	
	InputString2	文字列	必須	

出力パラメータ

名前	型	説明
OutputString	文字列	

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor ID

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

平均実行時間 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor ID

編集者 winactor01

シナリオ登録日時 2019/07/26 14:10:22

更新日時 2019/07/26 14:10:22

スケジュール登録 履歴 編集 削除

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

- ④ シナリオ作成時に入力パラメータとして指定した「InputString1」と「InputString2」がどのように値を受け取るかを設定します。[連携パラメータ]の[+]ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前: 文字列連結 (64文字以下)

所属: NTTAT

シナリオID: 9DEfnLVOOhU_Cv_65OcDOQ

シナリオ名: 文字列連結

WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

名前	型	必須	説明	値
InputString1	文字列	必須		1024文字以下
InputString2	文字列	必須		1024文字以下

連携パラメータ: +

データ一覧ファイル: 参照 (ファイルを参照)

データ分割数: 1 (2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われず)

実行指定: 即時

アーカイブ:
● シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
● シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ:
● シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
● シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時:
● シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
● シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ: (200文字以下)

リトライ回数: 0

リトライ間隔: 0 (単位は秒)

OK

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- ⑤ 「名前」にシナリオの入力パラメータ「InputString1」を設定します。プルダウンから選ぶことも可能です。

連携パラメータ

名前: (プルダウンメニュー) (255文字以下)

型: (プルダウンメニュー)

OK キャンセル

- ⑥ 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここでは手動でデータ登録を行い、そのタイミングでシナリオを実行できるようにするため「リクエスト型」として設定します。「InputString1」が文字列型のパラメータのため、「リクエスト文字列」を選択します。



入力パラメータの型（文字列型、ファイル型）と、連携パラメータの型（○文字列、○○ファイル）は合わせる必要があります。

入力パラメータの型がファイル型で、ファイルを登録したタイミングでシナリオを実行する場合は「リクエストファイル」を選択してください。

連携パラメータ

名前 InputString1 255文字以下

型

- スケジュールステータス
- スケジュールパラメータ(文字列)
- スケジュールパラメータ(ファイル)
- スケジュールアーカイブファイル
- リクエスト文字列
- リクエストファイル

OK キャンセル

- 7 [OK] ボタンをクリックします。「InputString2」についても同様に「リクエスト文字列」で設定します。

連携パラメータ

名前 InputString1 255文字以下

型 リクエストファイル

OK キャンセル

- ⑧ 「連携パラメータ」が登録されました。「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID 9DEfnLVOOhU_Cv_650cDDQ

シナリオ名 文字列連結

WinActor 指定なし

入力パラメータ

名前	型	必須	説明	値
InputString1	文字列	必須		1024文字以下
InputString2	文字列	必須		1024文字以下

連携パラメータ

名前	型	情報
InputString1	リクエスト文字列	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="📄"/> <input type="button" value="✖"/>
InputString2	リクエスト文字列	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> <input type="button" value="📄"/> <input type="button" value="✖"/>

データ一覧ファイル

データ分割数 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。

実行指定 種別

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

リトライ回数

リトライ間隔 単位は秒

スケジュールが登録されます。

6.3 データを登録する

データを登録してスケジュールを実行してみましょう。

Steps

1. フロー画面を表示します。
 - ① WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結	NTTAT	2019/07/26 14:19:53
キーワード検索		2019/07/01 17:35:47
データドリブン		2019/07/01 17:23:07
先読スケジュール(ステータス)		2019/07/01 16:36:57
先読スケジュール(承認)		2019/07/01 15:14:25
先読スケジュール(データ分割)		2019/07/01 14:57:04
先読スケジュール		2019/07/01 14:47:09

- 2 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択し、「ステージ」エリアで要素をクリックします。

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結	NTTAT	2019/07/26 14:19:53
キーワード検索		2019/07/01 17:35:47
データドリブン		2019/07/01 17:23:07
先読スケジュール(ステータス)		2019/07/01 16:36:57
先読スケジュール(承認)		2019/07/01 15:14:25
先読スケジュール(データ分割)		2019/07/01 14:57:04
先読スケジュール		2019/07/01 14:47:09

「詳細情報」エリアが表示されます。

2. データを登録します。

- ① [入力パラメータ] に登録したパラメータ名と同じ並びにある [設定] ボタンをクリックします。

詳細情報

スケジュールID rXtWgDGAA5yKJjoaGNW7VA

スケジュール名 [文字列連結](#)

所属 NTTAT

シナリオ名 [文字列連結](#)

状態 待機中

有効/無効 有効

実行予定WinActor 指定なし

	名前	型	値	説明
入力パラメータ	InputString1	リクエスト文字列		<input type="button" value="設定"/>
	InputString2	リクエスト文字列		<input type="button" value="設定"/>

連携パラメータ

アーカイブファイル

出力パラメータ

データ一覧ファイル

	種別
実行指定	データ駆動

作成日時 2019/07/26 14:19:53

更新日時 2019/07/26 14:19:53

開始日時

終了日時

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ実行済み回数 0

メモ

- ② [リクエストパラメータ] エリアの [値] 欄に WinActor に渡したい文字列を設定して [OK] ボタンをクリックします。

リクエストパラメータ

名前 InputString1

型 文字列

値 WinActor Managerで、 024文字以下

- ③ 設定した値が [連携パラメータ] 欄に表示されることを確認します。

詳細情報

スケジュールID rXtWgDGaA5yKjjoaGNW7VA

スケジュール名 [文字列連結](#)

所属 NTTAT

シナリオ名 [文字列連結](#)

状態 待機中

有効/無効 有効

実行予定WinActor 指定なし

名前	型	値	説明
入力パラメータ			
InputString1	リクエスト文字列		<input type="button" value="設定"/>
InputString2	リクエスト文字列		<input type="button" value="設定"/>
連携パラメータ			
名前	型	情報	説明
InputString1	リクエスト文字列	WinActor Managerで、	<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="消去"/>

アーカイブファイル

出力パラメータ

データ一覧ファイル

種別
実行指定 データ駆動

作成日時 2019/07/26 14:19:53

更新日時 2019/07/26 14:19:53

開始日時

終了日時

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ実行済み回数 0

メモ

- ④ 「InputString2」も同様に設定します。

リクエストパラメータ

名前 InputString2

型 文字列

値 1024文字以下

- ⑤ すべてのリクエストパラメータの登録が終わると実行が開始されます。「検索結果一覧」エリアまで画面をスクロールし、対象のスケジュールをクリックします。

検索結果一覧

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結	NTTAT	2019/07/26 14:19:53
データドリブン		2019/07/01 17:23:07
先頭スケジュール(ステータス)		2019/07/01 16:36:57
先頭スケジュール(承認)		2019/07/01 15:14:25
先頭スケジュール(データ分割)		2019/07/01 14:57:04
先頭スケジュール		2019/07/01 14:47:09

ページあたりの件数 10 7 件中 1 - 7 件

- ⑥ 「履歴」エリアに新しい行が表示されているのでクリックします。

検索結果一覧

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結	NTTAT	2019/07/26 14:19:53
キーワード検索		2019/07/01 17:35:47
データドリブン		2019/07/01 17:23:07
先頭スケジュール(ステータス)		2019/07/01 16:36:57
先頭スケジュール(承認)		2019/07/01 15:14:25
先頭スケジュール(データ分割)		2019/07/01 14:57:04
先頭スケジュール		2019/07/01 14:47:09

ページあたりの件数 10 7 件中 1 - 7 件

履歴

スケジュール名	所属	ステータス	開始時間	終了時間
文字列連結	NTTAT	正常終了	2019/07/26 14:25:20	2019/07/26 14:25:22

ページあたりの件数 10 1 件中 1 - 1 件

新規作成

- 7 「ステージ」エリア内の要素の色が変わっています。緑色はタスクの実行が正常終了したことを表しています。

履歴

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始時間	終了時間
文字列連結	NTTAT	正常終了	2019/07/26 14:25:20	2019/07/26 14:25:22

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1件

新規作成

ステージ

完了済み

- 8 タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

詳細情報

タスクID 57Yg8E2puPcb4Gi3MEX4bw

名前 文字列連結

所属 NTTAT

シナリオ名 [文字列連結](#)

状態 正常終了

データ一覧ファイル

名前	型	値	説明
入力パラメータ	InputString1	文字列	WinActor Managerで、
	InputString2	文字列	シナリオを実行しました。

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル

名前	型	値	
出力パラメータ	OutputString	文字列	WinActor Managerで、シナリオを実行しました。

生成日時 2019/07/26 14:25:17

開始日時 2019/07/26 14:25:20

終了日時 2019/07/26 14:25:22

更新日時 2019/07/26 14:25:22

実行時間(秒) 2

リトライ実行済み回数 0

実行予定WinActor 指定なし

WinActor [WinActor01@WinActor01](#)

スケジュール [文字列連結](#)

スケジュール時刻 2019/07/26 14:19:53

エラー

中断 削除

3. 一度実行したシナリオを再実行するには以下の手順で操作します。

① WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。

検索条件

ステージID 完全一致 [] 英数字記号32文字以下

スケジュール名 完全一致 [] 64文字以下

所属 [] [] []

更新日時 次の範囲内 [] - []

検索

検索結果一覧

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結	NTTAT	2019/07/26 14:19:53
キーワード検索		2019/07/01 17:35:47
データドリブン		2019/07/01 17:23:07
先読スケジュール(ステータス)		2019/07/01 16:36:57
先読スケジュール(承認)		2019/07/01 15:14:25
先読スケジュール(データ分割)		2019/07/01 14:57:04
先読スケジュール		2019/07/01 14:47:09

ページあたりの件数 10 7件中 1 - 7件

② 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択し、「履歴」エリアの「新規作成」ボタンをクリックします。

検索結果一覧

スケジュール名	所属	更新日時
文字列連結	NTTAT	2019/07/26 14:19:53
キーワード検索		2019/07/01 17:35:47
データドリブン		2019/07/01 17:23:07
先読スケジュール(ステータス)		2019/07/01 16:36:57
先読スケジュール(承認)		2019/07/01 15:14:25
先読スケジュール(データ分割)		2019/07/01 14:57:04
先読スケジュール		2019/07/01 14:47:09

ページあたりの件数 10 7件中 1 - 7件

履歴

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始時間	終了時間
文字列連結	NTTAT	正常終了	2019/07/26 14:25:20	2019/07/26 14:25:22

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1件

新規作成

- ③ 「ステージ」エリアに新しいフローが表示されます。先頭の要素をクリックし、Step 2 の手順でデータを登録します。

The screenshot displays a software interface with two main sections. The top section, titled "履歴" (History), contains a table with the following data:

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始時間	終了時間
文字列連結	NTTAT	正常終了	2019/07/26 14:25:20	2019/07/26 14:25:22

Below the table, there is a refresh button, a pagination control showing "ページあたりの件数 10" and "1件中 1 - 1件", and a "新規作成" (New) button. The bottom section, titled "ステージ" (Stage), shows a single element labeled "文字列連結" (Text Link) which is highlighted with a blue rectangular box.

7. 複数のシナリオを連続して実行するには

『2 複数のシナリオをまとめて実行するには』で複数のシナリオを連続して実行する方法を説明しましたが、シナリオの中にシナリオ GoTo ライブラリを追加し、ZIP 形式のファイルとして圧縮する必要がありました。

ここでは WinActor Manager の機能を使って複数のシナリオを連続して実行する方法について説明します。この方法を使うと、シナリオ GoTo ライブラリを追加するためのシナリオの編集や ZIP 圧縮は不要となります。

7.1 シナリオを準備する

WinActor で実行したいシナリオを 2 つ作成しましょう。

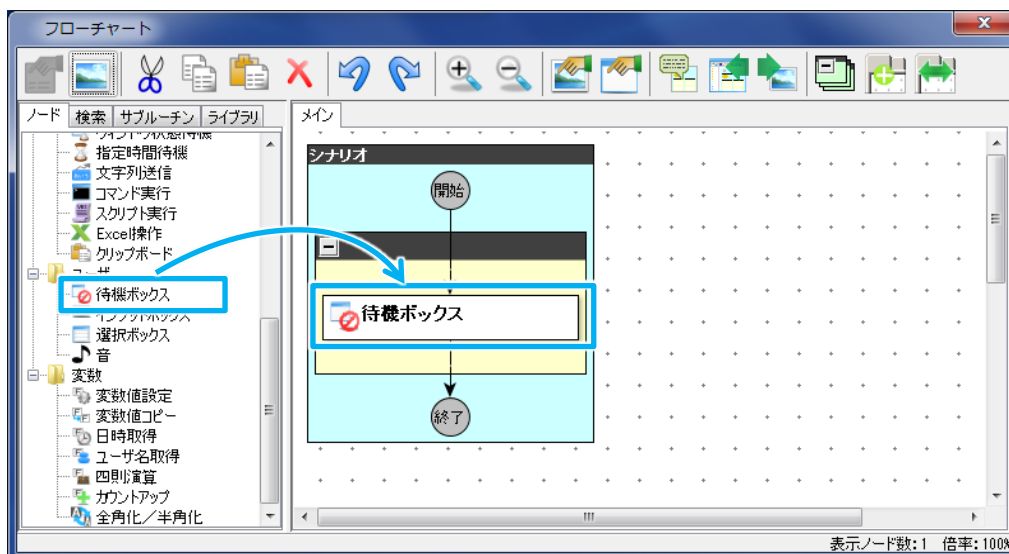
ここでは、1 番目のシナリオとして『6.1 シナリオを準備する』で使用した、2 つのパラメータで文字列を受け取り連結した文字列を出力するシナリオを使います。2 番目のシナリオは 1 番目のシナリオが出力した文字列を受け取り、待機ボックスで画面表示するシナリオとします。2 番目のシナリオは以下の手順で作成します。

- WinActor の操作方法については、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。
- 1 番目のシナリオの作成方法は『6.1 シナリオを準備する』を参照してください。

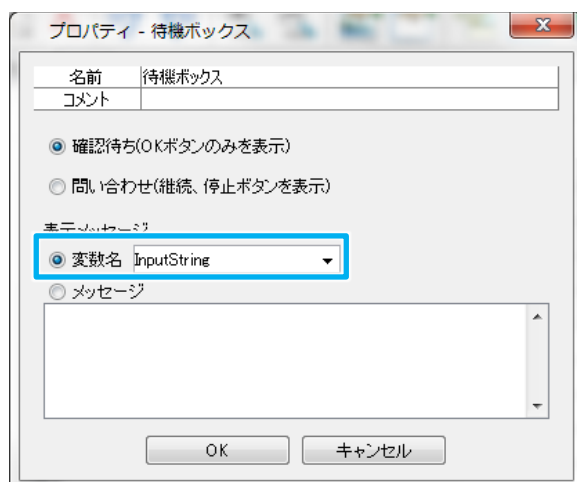
Steps

1. 2 番目に実行するシナリオを作成します。

- ① 「ノード」タブから、「待機ボックス」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- ② 「待機ボックス」ノードの「プロパティ」画面で、「変数名」に「InputString」を設定します。



2. シナリオを保存します。

7.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

1 番目のシナリオは『6.2 シナリオを登録する』を参照して登録してください。

Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。

➡ ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.5 ファイルをアップロードする』を参照してください。

➡ 1 番目のシナリオの登録は『6.2 シナリオを登録する』を参照してください。

検索条件

ファイルID 完全一致 英数字記号32文字以下

ファイル名 完全一致 512文字以下

所属

登録日時 次の範囲内 yyyy-mm-dd - yyyy-mm-dd

検索結果一覧

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	ダウンロード	削除
画面表示.ums6	NTTAT	1 KB	2019/07/26 14:08:59	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>
文字列連結.ums6	NTTAT	1.23 KB	2019/07/26 14:08:45	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>
output.zip		1.79 MB	2019/07/01 17:49:56	<input type="button" value="ダウンロード"/>	<input type="button" value="削除"/>

2. 「画面表示.ums6」をシナリオとして登録します。

➤ シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- 1 シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の [参照] ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。

新規作成

名前 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 シナリオファイルを一括指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

- 2 「入力パラメータ」の [+] ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputString」を設定します。

新規作成

名前 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 シナリオファイルを一括指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

入力パラメータ

名前 255文字以下

型 文字列 ファイル

必須 必須 省略可

省略値 1024文字以下

説明 200文字以下

新規作成

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

入力パラメータ

出カパラメータ

タイムアウト 数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

③ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

入力パラメータ

出カパラメータ

タイムアウト 数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

3. スケジュール登録エリアを表示します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアで「画面表示」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 [スケジュール登録] ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID 4eKhq480f5tsHLw_D703Uw

親シナリオID

名前 画面表示

所属 NTTAT

ファイル名 画面表示.ums6

パスワード パスワード設定なし

名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	

出力パラメータ

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor ID

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

平均実行時間 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor ID

編集者 winactor01

シナリオ登録日時 2019/07/26 15:36:33

更新日時 2019/07/26 15:36:33

スケジュール登録 履歴 複製 削除

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

4. 連携パラメータを登録します。

- 1 「連携パラメータ」の「+」ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前: 画面表示 (64文字以下)

所属: NTTAT

シナリオID: 4eKhq480I5tsHLw_D7D3Uw

シナリオ名: 画面表示

WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	1024文字以下

連携パラメータ: +

データ一覧ファイル: 参照 (ファイルを参照)

データ分割数: 1 (2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。)

実行指定: 即時

アーカイブ:
◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ:
◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時:
◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ: (200文字以下)

リトライ回数: 0

リトライ間隔: 0 (単位は秒)

OK

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- 2 「名前」にシナリオの入力パラメータ「InputString」を設定します。プルダウンから選ぶことも可能です。

連携パラメータ

名前: (プルダウンメニュー) (255文字以下)

型: InputString

OK キャンセル

- 3 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここでは1番目のシナリオの出力パラメータを受け取るため「スケジュールパラメータ型」として設定します。「InputString」が文字列型のパラメータのため、「スケジュールパラメータ(文字列)」を選択します。



入力パラメータの型(文字列型、ファイル型)と、連携パラメータの型(○文字列、○○ファイル)は合わせる必要があります。

入力パラメータの型がファイル型で、ひとつ前のシナリオの出力パラメータ

としてファイルを受け取る場合は「スケジュールパラメータ(ファイル)」を選択してください。



ひとつ前のシナリオの結果を受け取るには「スケジュール」で始まる型を選択します。「スケジュールパラメータ」以外は以下の用途で使用します。

スケジュールステータス：

ひとつ前のシナリオが成功したときに後続のシナリオを実行したい場合などに使用します。詳しくは『8 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには』を参照してください。

スケジュールアーカイブファイル：

ひとつ前のシナリオがアーカイブファイルを作成する設定のときに、そのアーカイブファイルを受け取ることが出来ます。「ファイル型」の入力パラメータに設定してください。

連携パラメータ

名前 InputString 255文字以下

型

- スケジュールステータス
- スケジュールパラメータ(文字列)
- スケジュールパラメータ(ファイル)
- スケジュールアーカイブファイル
- リクエスト文字列
- リクエストファイル
- 承認

OK キャンセル

WinActor

入力パラメータ

スケジュールID 参照 スケジュールを指定

パラメータ名 参照 アウトプットパラメータを指定

OK キャンセル

スケジュール ID、パラメータ名の入力欄が表示されます。

- 「スケジュール ID」の [参照] ボタンをクリックします。WinActor Manager に登録されているスケジュールの一覧が表示されます。パラメータを受け取りたいシナリオのスケジュールを確認し、[選択] ボタンをクリックします。

検索条件① ▲

スケジュールID 完全一致 ▼ 英数字記号32文字以下

名前 完全一致 ▼ 64文字以下

所属 ▼ ▼ ▼

更新日時 次の範囲内 ▼ -

有効/無効 ▼

子スケジュール 表示有 ▼

検索結果一覧② ▲

名前	所属	実行予定WinActor	実行指定	更新日時	有効/無効	選択
文字列連結	NTTAT		データ駆動	2019/07/26 14:19:53	有効	<input type="button" value="選択"/>
取得結果マージ			データ駆動	2019/07/01 17:44:51	有効	<input type="button" value="選択"/>
ファイル名変更			データ駆動	2019/07/01 17:43:24	有効	<input type="button" value="選択"/>

- ⑤ 「パラメータ名」の [参照] ボタンをクリックします。

連携パラメータ①

名前 255文字以下

型 ▼

スケジュールID

パラメータ名 アウトプットパラメータを指定

- ⑥ ②で選択したシナリオの出力パラメータが表示されます。対象のパラメータを決定し、[選択] ボタンをクリックします。



連携パラメータの型（○○文字列、○○ファイル）と、ひとつ前のシナリオの出力パラメータの型（文字列型、ファイル型）は合わせる必要があります。そのため出力パラメータの一覧には連携パラメータと同じ型のパラメータしか表示されません。指定したいパラメータ名が一覧に表示されない場合は型の指定に誤りがないか確認してください。

検索結果一覧

出力パラメータ名	型	説明	選択
OutputString	文字列		<input type="button" value="選択"/>

7 [OK] ボタンをクリックします。

連携パラメータ

名前 255文字以下

型

スケジュールID

パラメータ名

5. スケジュールを登録します。

1 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID

シナリオ名

WinActor

名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	1024文字以下

名前	型	情報
連携パラメータ	InputString	スケジュールパラメータ(文字列)
	rXtWgDGAA5yKJjoaGNW7VA	OutputString

データ駆動ファイル

データ分割数 2以上を指定することでその値だけデータ駆動ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われず。

実行指定

アーカイブ

- シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
- シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

- シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
- シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

- シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
- シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

リトライ回数

リトライ間隔 単位は秒

スケジュールが登録されます。

7.3 シナリオを実行する

データを登録してスケジュールを実行してみましょう。『6.3 データを登録する』の Step 1～2 の手順に従いデータを登録してください。ここでは Step 2 ⑦ まで進めたものとして説明します。

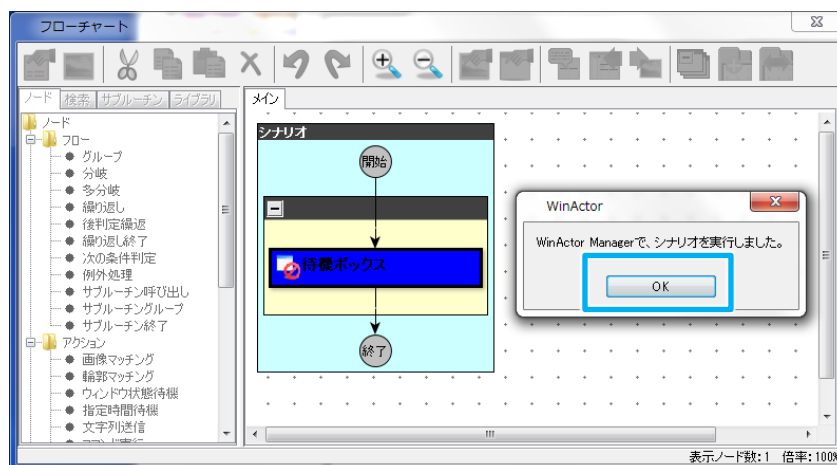
Steps

1. 進捗を確認します。

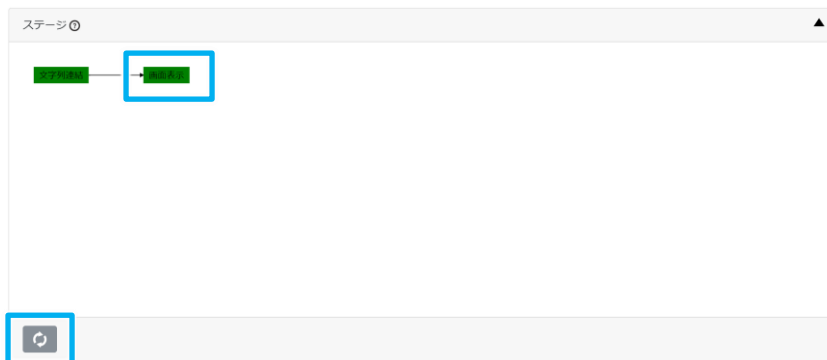
- ① 「ステージ」エリア内の要素の色が変わっています。現在は 2 番目のシナリオが実行されています。水色は実行中のタスクを表しています。



- ② WinActor を見ると 1 番目のシナリオから受け取った文字列を表示しています。ダイアログの [OK] ボタンをクリックしてシナリオを続行します。



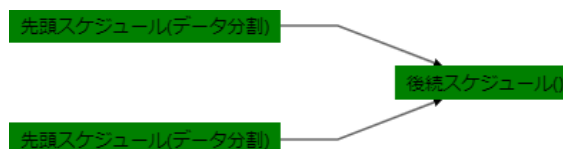
- ③ [リロード] ボタンをクリックすると最新の情報に更新できます。2 番目のシナリオの実行が終わると要素の色が緑に変わります。



4 タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。



ひとつ前に指定できるのは1つのシナリオだけとは限りません。以下のように複数のシナリオの結果を受け取るように設定することも出来ます。



この場合、複数のシナリオの結果が出揃ってから後続のシナリオが実行されるため、前段のすべての処理が終わるまで待ち合わせたい場合などにも使用できます。

8. 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには

複数のシナリオを連続実行する際に、一つ前のシナリオが成功したときはシナリオ A を実行、失敗したときはシナリオ B を実行、のように条件に合わせて実行するシナリオを設定することが出来ます。

ここでは WinActor Manager の機能を使って条件分岐する方法について説明します。

8.1 シナリオを準備する

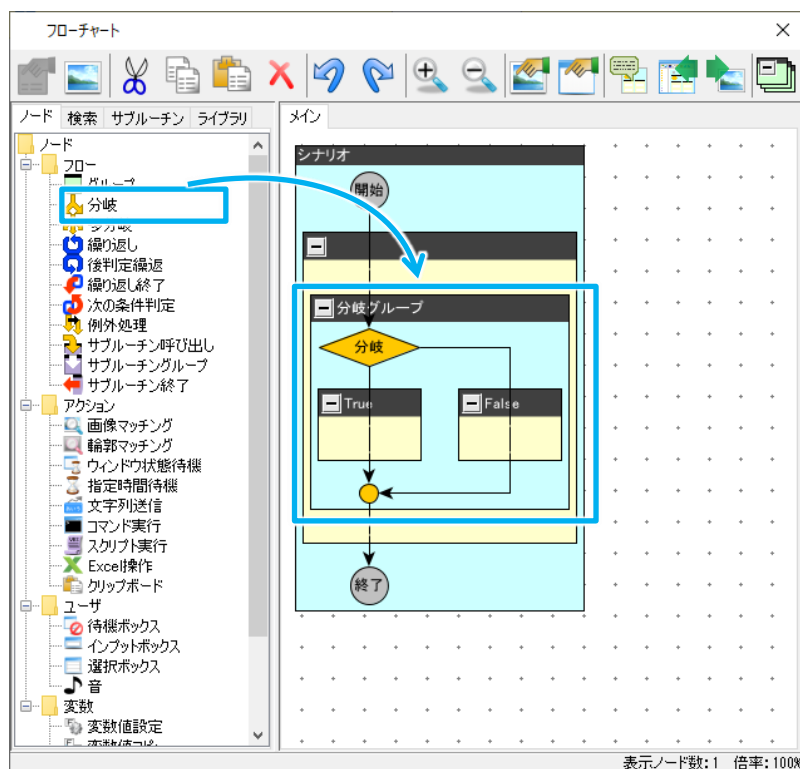
WinActor で実行したいシナリオを 2 つ作成しましょう。

ここでは 1 番目のシナリオとして入力した条件に合わせて正常終了もしくは異常終了するためのシナリオを作成します。2 番目のシナリオは『7.1 シナリオを準備する』で作成した文字列を受け取り、待機ボックスで画面表示するシナリオとします。

- WinActor の操作方法については、『WinActor 操作マニュアル』を参照してください。
- 2 番目のシナリオの作成方法は『7.1 シナリオを準備する』を参照してください。

Steps

1. 1 番目に実行するシナリオを作成します。
 - ① 「ノード」タブから、「分岐」ノードをドラッグ&ドロップして追加します。



- ② 「分岐」ノードの「プロパティ」画面で、条件式を設定します。「条件式設定」ボタンをクリックし、「値1」に「InputString」、「値2」に「異常終了」を設定します。このとき、値1を設定する前にプルダウンから「*」を選択してから「InputString」と入力することで、InputString という変数の登録も合わせて実施します。比較演算子は「等しい」のままとします。

プロパティ-分岐グループ

名前	分岐グループ	
コメント		
判定	分岐名	条件式
真	True	条件式設定
偽	False	

OK キャンセル

条件式

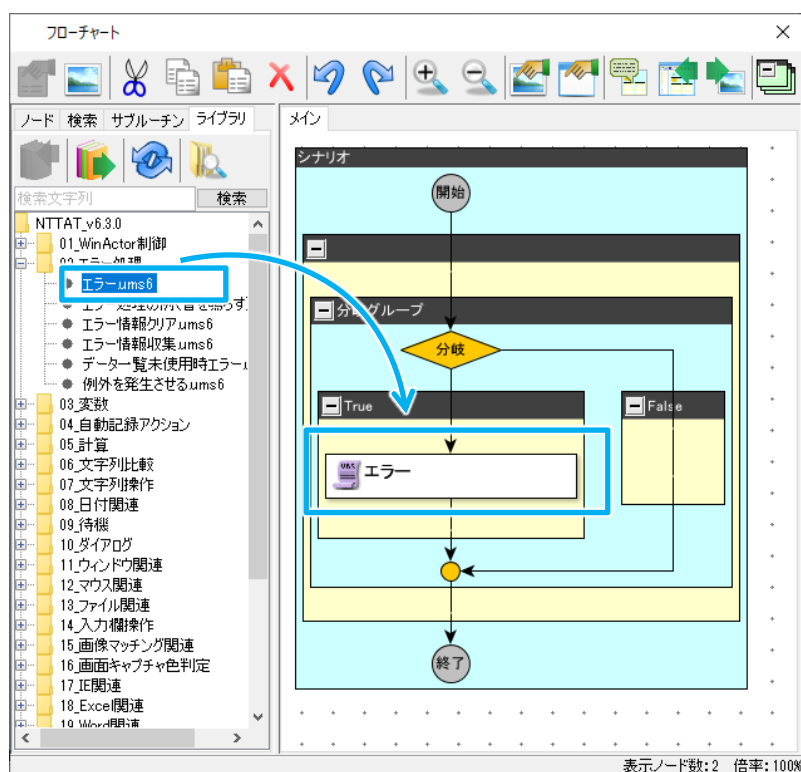
AND/OR/NOT追加 条件追加 削除

階層表示	値1	比較演算子	値2
条件設定			
● 条件	InputString	等しい	値⇒異常終了

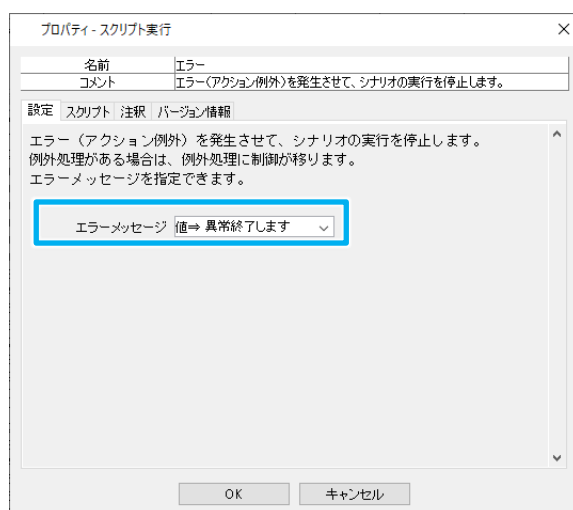
「値⇒」で始まっていないことに注意

OK キャンセル

- ③ 「ライブラリ」タブから、「エラー」ライブラリをドラッグ&ドロップして追加します。



- ④ 「エラー」ノードの「プロパティ」画面で、「エラーメッセージ」に任意の文字列を設定します。(ここでは「異常終了します」としています)



2. シナリオを保存します。

8.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

『8.1 シナリオを準備する』で作成したシナリオが正常終了した場合、または異常終了した場合に 2 番目のシナリオが実行されるようにシナリオを登録します。

Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。
 - >> ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.5 ファイルをアップロードする』を参照してください。
 - >> 2 番目のシナリオの登録は『7.2 シナリオを登録する』を参照してください。

検索条件

ファイル名 AND/NOT検索 512文字以下

所属

登録日時 次の範囲内 yyyy-mm-dd - yyyy-mm-dd

登録者 部分一致 英数字記号64文字以下

検索

検索結果一覧

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	登録者	ダウンロード	編集	削除	
画面表示.ums6	NTTAT	1 KB	2021/03/04 17:20:07	WinActor01	ダウンロード	編集	削除	□
条件分岐.ums6	NTTAT	1.48 KB	2021/03/04 17:19:54	WinActor01	ダウンロード	編集	削除	□

ページあたりの件数 10 2件中 1 - 2件

一括削除 新規作成

2. 「条件分岐.ums6」をシナリオとして登録します。

➤ シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

- 1 シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。

新規作成

名前 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 **参照** シナリオファイルを一指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ 出力パラメータ

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

OK

- 2 「入力パラメータ」の「+」ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの入力用の変数「InputString」を設定します。

新規作成

名前 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 **参照** シナリオファイルを一指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ 出力パラメータ

タイムアウト 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

OK

入力パラメータ

名前 255文字以下

型 文字列 ファイル

必須 必須 省略可

省略値 10000文字以下

説明 200文字以下

新規作成

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルを一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

③ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成

名前 64文字以下

所属

ファイル名 シナリオファイルを一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

名前	型	必須	省略値	説明
InputString	文字列	必須		

入力パラメータ

出力パラメータ

タイムアウト 数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

3. スケジュール登録エリアを表示します。

>> スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアで「条件分岐」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 [スケジュール登録] ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID OnVgeTLWM-Wh6POVYeBBEw

親シナリオID

名前 条件分岐

所属 NTTAT

ファイル名 [条件分岐.ums6](#)

パスワード パスワード設定なし

名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	

出カパラメータ

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

中断回数 0

平均実行時間(秒) 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor

登録者 WinActor01

登録日時 2021/03/04 17:53:19

更新日時 2021/03/04 17:53:19

スケジュール登録 履歴 一括削除 削除

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

4. 連携パラメータを登録します。

- 1 [連携パラメータ] の [+] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前: 条件分岐 (64文字以下)

所属: NTTAT

シナリオID: OnVgeTLWM-Wh6P0VYeBBEw

シナリオ名: 条件分岐

WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

名前	型	必須	説明	値	省略値
入力パラメータ	InputString	文字列	必須		10000文字以下

連携パラメータ: +

データ一覧ファイル: 指定なし

データ分割数: 1 (2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。)

実行指定: 即時 (種別)

アーカイブ: シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ: シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時: シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ回数: 0

リトライ間隔: 0 (単位は秒)

メモ: (200文字以下)

OK

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- 2 「名前」にシナリオの入力パラメータ「InputString」を設定します。「型」は「リクエスト文字列」を設定して [OK] ボタンをクリックします。

連携パラメータ

名前: InputString (255文字以下)

型: リクエスト文字列

OK キャンセル

- 3 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前: 条件分岐 64文字以下

所属: NTTAT

シナリオID: OnVgeTLWM-Wh6POVYe8BEw

シナリオ名: 条件分岐

WinActor: 指定なし [シナリオを実行するWinActorを指定する](#)

名前	型	必須	説明	値	省略値
入力パラメータ	InputString	文字列	必須		10000文字以下

名前	型	情報
連携パラメータ	InputString	リクエスト文字列

データ一覧ファイル: 指定なし

データ分割数: 1 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。

実行指: データ駆動 種別

アーカイブ: シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ: シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時: シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ回数: 0

リトライ間隔: 0 単位は秒

メモ: 200文字以下

OK

スケジュールが登録されます。

5. 2番目のシナリオをスケジュール登録するためにスケジュール登録エリアを表示します。

>> スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアで「画面表示」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ [スケジュール登録] ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID SpQqu-IL-w21vHYxV1967Q

親シナリオID

名前 画面表示

所属 NTTAT

ファイル名 [画面表示.ums6](#)

パスワード パスワード設定なし

名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	

出力パラメータ

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

中断回数 0

平均実行時間(秒) 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor

登録者 WinActor01

登録日時 2021/03/04 18:02:08

更新日時 2021/03/04 18:02:08

[スケジュール登録](#) [履歴](#) [印刷](#) [一括削除](#) [削除](#)

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

6. 連携パラメータを登録します。

- 1 [連携パラメータ] の [+] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 画面表示 64文字以下

所属 NTTAT

シナリオID SpQqu-iL-w21vHYxV1967Q

シナリオ名 画面表示

WinActor 指定なし

名前	型	必須	説明	値	省略値
入力パラメータ	InputString	文字列 必須			10000文字以下

連携パラメータ

データ一覧ファイル 指定なし

データ分割数 1 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われ
ない。

実行指定 即時

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ回数 0

リトライ間隔 0 単位は秒

メモ 200文字以下

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- 2 「名前」を設定します。ここではプルダウンからは選択せず、入力パラメータに含まれない名称で設定してください。



受け取る情報の種類が「文字列型」「ファイル型」の場合は入力パラメータと同じ名前を指定しますが、連携パラメータの型として「スケジュールステータス型」「承認型」を指定する場合は入力パラメータとは異なる名称で登録してください。承認型については『10 承認後にシナリオを開始するには』を参照してください。

連携パラメータ

名前 ステータス (異常終了) 255文字以下

型

- ③ 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここではひとつ前の実行結果を受け取るため「スケジュールステータス型」として設定します。

連携パラメータ

名前 ステータス (異常終了) 255文字以下

型

- スケジュールステータス
- スケジュールパラメータ(文字列)
- スケジュールパラメータ(ファイル)
- スケジュールアーカイブファイル
- リクエスト文字列
- リクエストファイル
- 承認

OK キャンセル

- ④ 「スケジュール ID」の [参照] ボタンをクリックし、スケジュールを選択してください。

連携パラメータ

名前 ステータス (異常終了) 255文字以下

型 スケジュールステータス

スケジュールID 参照 スケジュールを指定

ステータス 正常終了 異常終了

OK キャンセル

検索結果一覧

名前	所属	実行予定 WinActor	実行指定	更新日時	有効/無効	選択
条件分岐	NTTAT		データ駆動	2021/03/04 18:01:44	有効	選択

- ⑤ 「ステータス」を選択します。ここでは [異常終了] のラジオボタンを選択します。

連携パラメータ

名前 ステータス (異常終了) 255文字以下

型 スケジュールステータス

スケジュールID FZKssc4G2pPxMHlllSvr 参照

ステータス 正常終了 異常終了

OK キャンセル

6 [OK] ボタンをクリックします。

連携パラメータ

名前 ステータス (異常終了) 255文字以下

型 スケジュールステータス

スケジュールID FZKssc4G2pPxMHlllSvr 参照

ステータス 正常終了 異常終了

OK キャンセル

7. スケジュールを登録します。

- 1 「名前」欄と「入力パラメータ」の「InputString」に「異常終了時に実行」と記載します。



入力パラメータの一部、もしくはすべてを連携パラメータとして指定できますが、連携パラメータとして指定しなかった入力パラメータについては本画面で直接値を指定できます。

スケジュール登録

名前 異常終了時に実行 64文字以下

所属 NTTAT

シナリオID SpQqu-lL-w21vHYxV1967Q

シナリオ名 画面表示

WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

名前	型	必須	説明	値	省略値
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	異常終了時に実行	

名前	型	情報
連携パラメータ	ステータス (異常終了)	スケジュールステータス FZKssc4G2pPxMHlllSvr 異常終了

データ一覧ファイル 指定なし

データ分割数 1 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。

実行指定 種別 データ駆動

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ回数 0

リトライ間隔 0 単位は秒

メモ 200文字以下

OK

- ② 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID SpQqu-lL-w21vHYxV1967Q

シナリオ名 画面表示

WinActor 指定なし

名前	型	必須	説明	値	省略値
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	<input type="text" value="異常終了時に実行"/>	10000文字以下

名前	型	情報
連携パラメータ	ステータス (異常終了)	スケジュールステータス FZKssc4G2pPxMHlll5vmQ 異常終了

データ一覧ファイル

データ分割数 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われ
ない。

実行指定	種別
<input type="text" value="データ駆動"/>	

アーカイブ
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、ここで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ回数

リトライ間隔 単位は秒

メモ 200文字以下

スケジュールが登録されます。

8. Step 5～7を繰り返し、もうひとつ実行するシナリオを登録します。

- 1 ひとつ前のスケジュールは Step 5 ④と同じものを指定してください。
- 2 Step 5 ⑤のステータスは「正常終了」のラジオボタンを選択してください。
- 3 Step 7 ①の「名前欄」と「InputString」は「正常終了時に実行」と指定してください。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID SpQqu-IL-w21vHYxV1967Q

シナリオ名 画面表示

WinActor 指定なし

名前	型	必須	説明	値	省略値
入力パラメータ	InputString	文字列	必須	<input type="text" value="正常終了時に実行"/>	10000文字以下

名前	型	値
連携パラメータ	ステータス (正常終了)	スケジュールステータス FZKssc4G2pPxMHlllSvmQ 正常終了

データ一覧ファイル

データ分割数 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われ
ない。

実行指定

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ回数

リトライ間隔 単位は秒

メモ 200文字以下

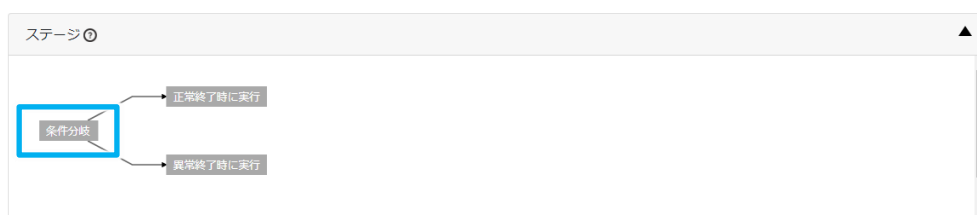
8.3 シナリオを実行する

スケジュールを実行してシナリオを順に実行してみましょう。

Steps

1. 進捗を確認します。

- 1 進捗画面を開き検索結果一覧から「条件分岐」の項目を選択します。「ステージ」領域で「条件分岐」のノードから「正常終了時に実行」「異常終了時に実行」へ2本の矢印が出ていることを確認し、「条件分岐」のノードをクリックします。



2. 1番目のシナリオを実行します。

- 1 「詳細情報」内の「入力パラメータ」「設定」ボタンをクリックします。



- 2 「値」に「異常終了」と入力し [OK] ボタンをクリックします。

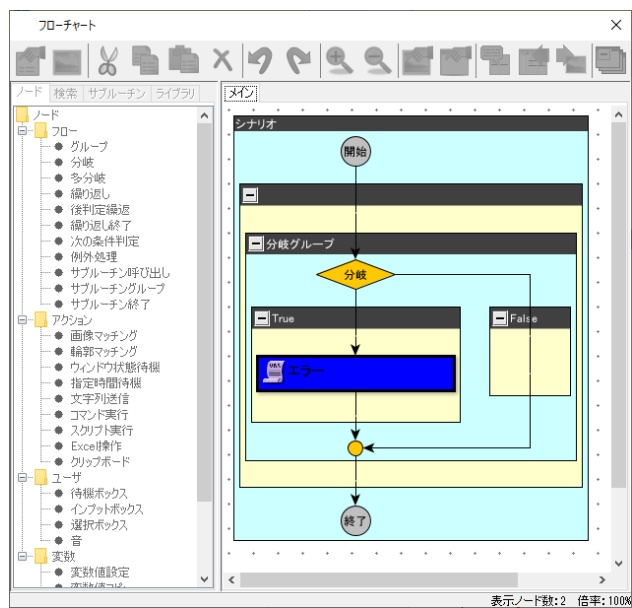
リクエストパラメータ

名前 InputString

型 文字列

値 10000文字以下

- ③ 1 番目のシナリオが実行されます。「異常終了」という文字列が入力されると異常終了するシナリオのため、実行されたタスクは異常終了しています。



検索結果一覧

名前	所属	状態	生成日時	実行予定日時	開始日時	終了日時	実行時間 (秒)	更新日時
条件分岐	NTT AT	異常終了	2021/03/04 18:47:45	2021/03/04 18:47:45	2021/03/04 18:48:03	2021/03/04 18:48:06	2	2021/03/04 18:48:06

ページあたりの件数 10 1件中 1 - 1 件

1

ダウンロード

3. もう一度進捗を確認します。

- 1 「進捗」画面を表示し、「履歴」エリアから最新の項目をクリックします。「異常終了時に実行」の要素が水色になっています。

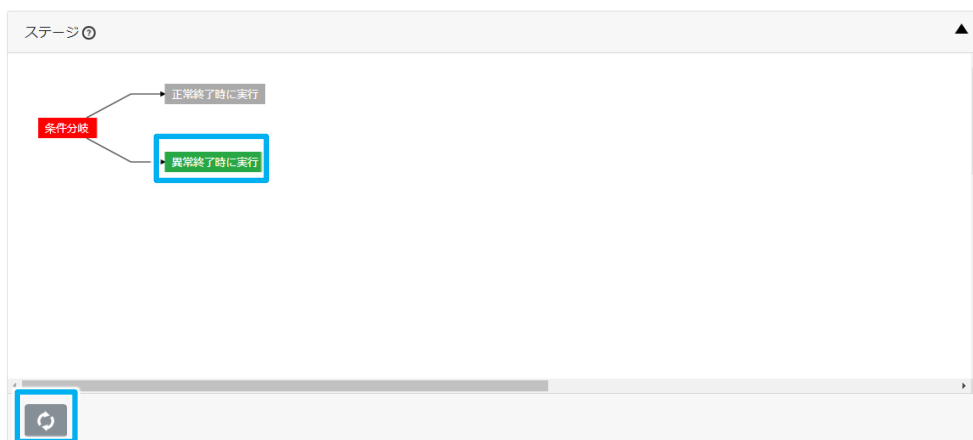
スケジュール名	所属	ステータス状態	開始日時	終了日時
条件分岐	NTTAT	実行中	2021/03/04 18:48:03	2021/03/04 18:48:06



ひとつ前のシナリオが異常終了したために、異常終了を条件としたシナリオが実行されています。タスクを正常終了した場合は正常終了のシナリオが実行されます。

- 2 WinActor を見ると「異常終了時に実行」のダイアログが表示されています。ダイアログの [OK] ボタンをクリックしてシナリオを続行します。

- ③ [リロード] ボタンをクリックすると最新の情報に更新できます。2番目のシナリオの実行が終わると要素の色が緑に変わります。



- ④ 各タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

名前	型	値	説明
InputString	文字列	異常終了時に実行	
入力パラメータ	ステータス (異常終了)	スケジュールステータス	異常終了

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない
 ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない
 異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル
 出力パラメータ
 生成日時 2021/03/04 18:48:06
 実行予定日時 2021/03/04 18:48:06
 開始日時 2021/03/04 18:48:37
 終了日時 2021/03/04 18:56:38
 更新日時 2021/03/04 18:56:38
 実行時間(秒) 481
 リトライ実行済み回数 0
 実行予定WinActor 指定なし
 WinActor WinActor_v6.3
 スケジュール 異常終了時に実行
 エラー

確認済みにする 未確認に戻す 中断 一括削除 削除

9. データを分割して複数の WinActor で実行するには

ここまでいくつかの WinActor Manager の操作方法を説明しましたが、どの方法も 1 台の WinActor にシナリオとデータを渡して処理を行い、結果を WinActor Manager に登録するというものでした。この方法でも処理を行うことは出来ますが、扱うデータのサイズが大きくなると 1 台の WinActor を長時間専有してしまう、予定時間内に処理が終わらないといった問題が発生してしまいます。このようなケースでは扱うデータを分割し、複数の WinActor で並行して処理を行うことで処理時間を短縮できる場合があります。

ここでは WinActor Manager の機能を使ってデータ分割を行う方法について説明します。



WinActor Manager ではデータの分割はできますが、分割実行して得られた結果を結合する機能はありません。分割された結果を結合する専用のシナリオを作成し、分割と結合を続けて実行することで最終的な結果を得るようにしてください。



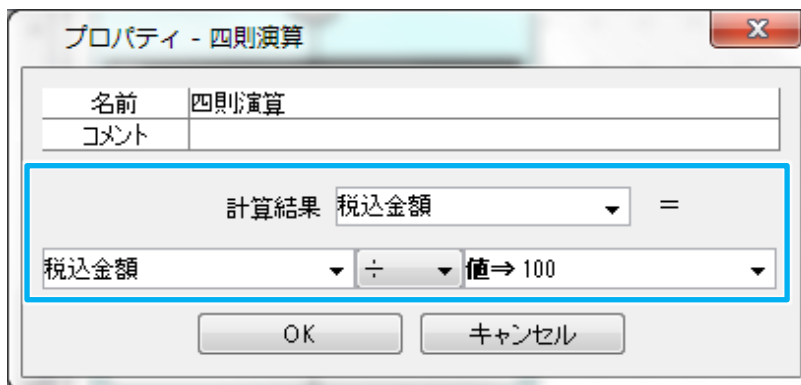
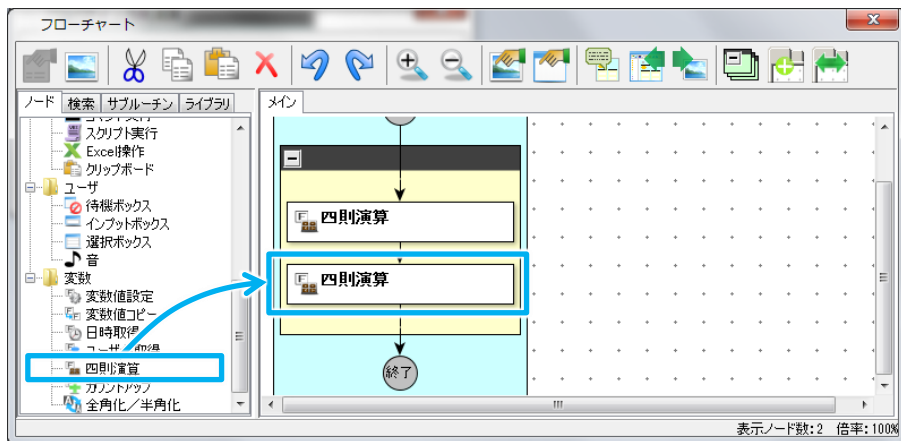
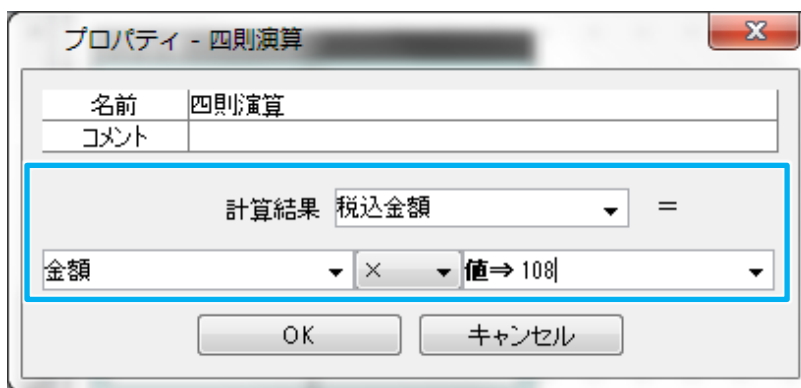
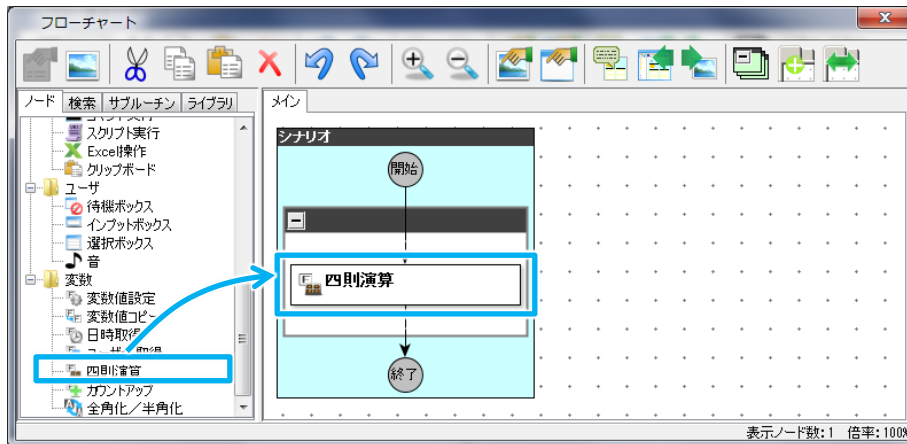
WinActor Manager でデータ分割できるのはデータ一覧ファイルのみとなりますのでご注意ください。

9.1 シナリオを準備する

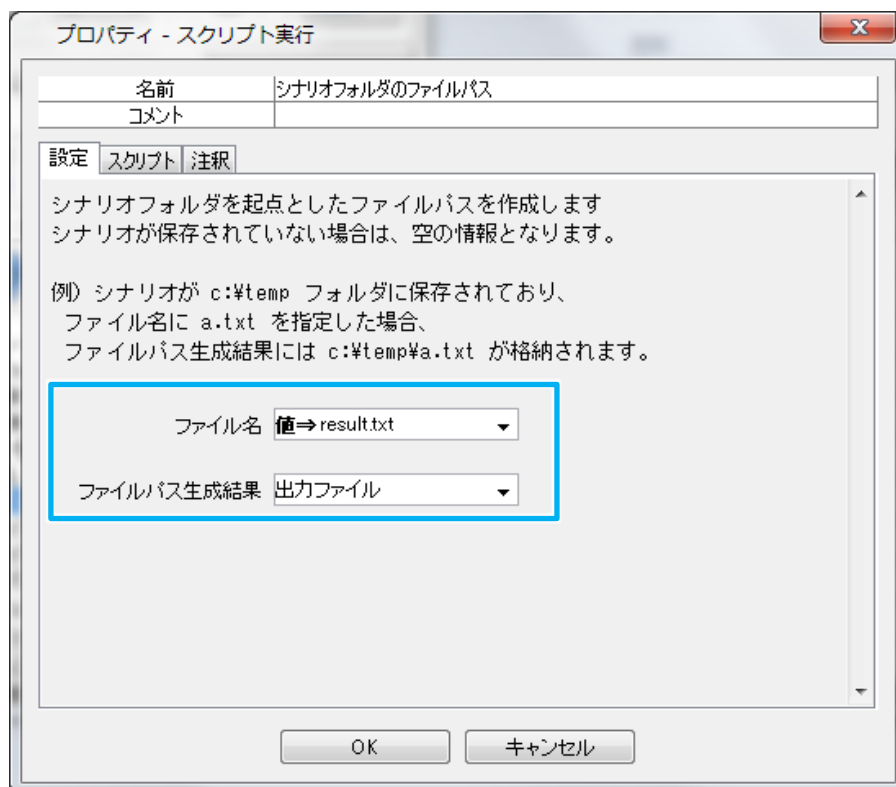
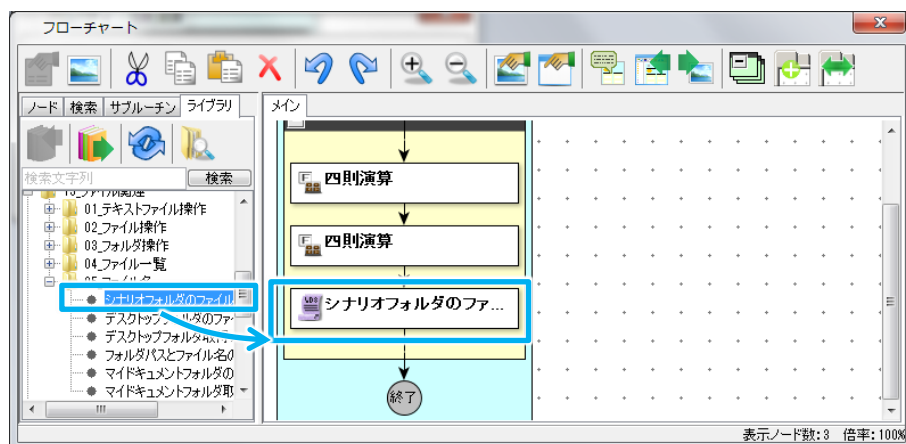
ここでは、例として、WinActor チュートリアル中級編で使用している「表形式データの取り扱い」のシナリオを用いて結果をファイル出力するよう修正して使用します。

Steps

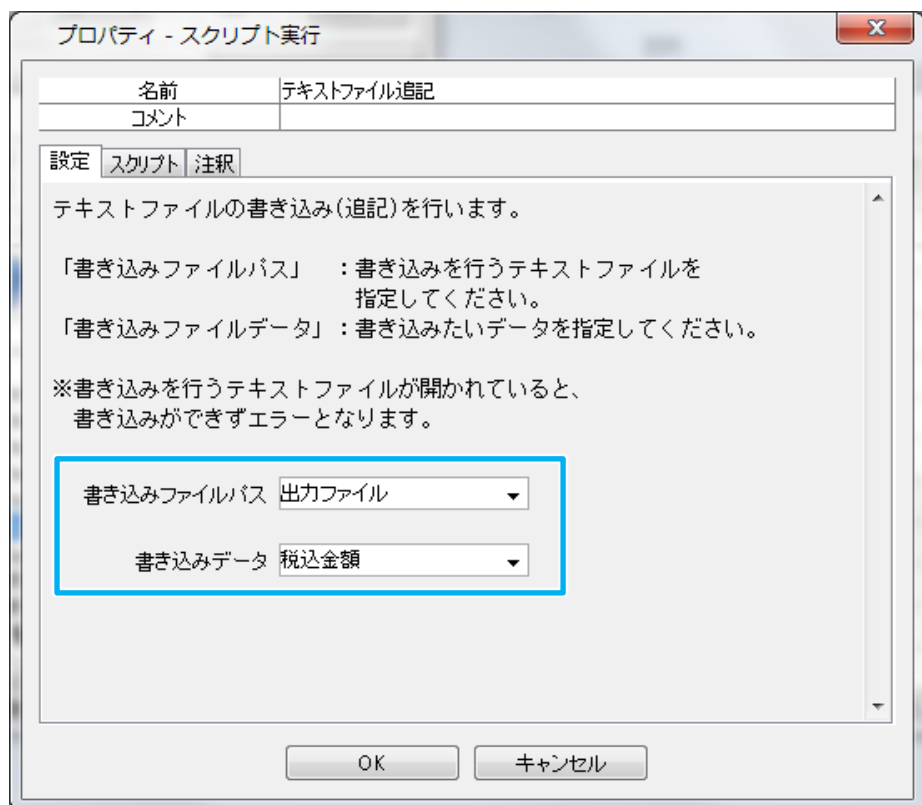
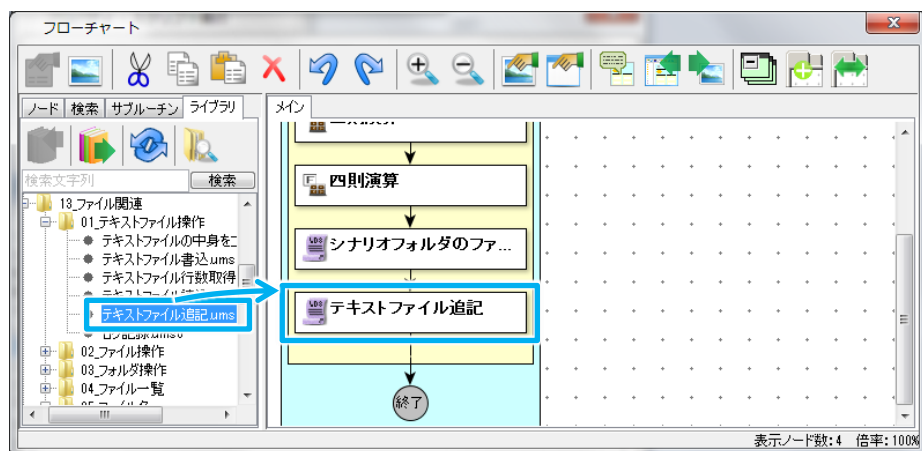
1. WinActor でシナリオを作成します。
 - >> シナリオの基本的な作成方法については、『WinActor チュートリアル中級編③ー表形式データの取り扱いー』を参照してください。
 - ① 「ノード」タブから、「四則演算」ノードをドラッグ&ドロップし、プロパティ画面から設定します。



- ② 「シナリオフォルダのファイルパス」ライブラリを追加し、出力ファイル名を設定します。



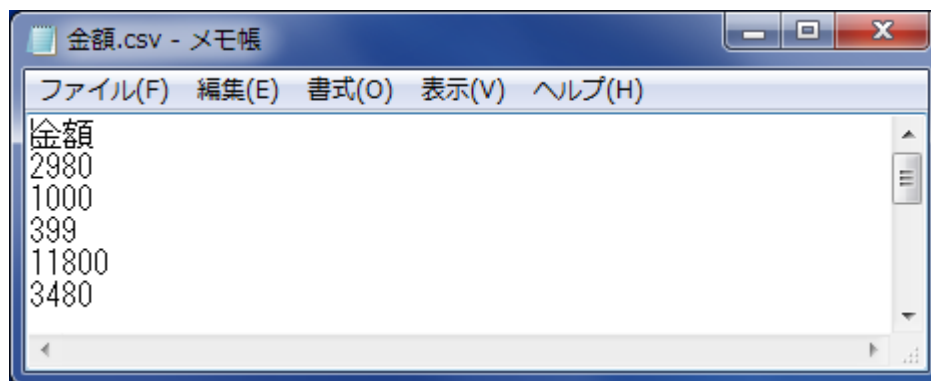
- ③ 「テキストファイル追記」ライブラリを追加し、算出した「税込金額」を出力ファイルに追記するように設定します。



- ④ シナリオを保存します。

2. データ一覧ファイルを作成します。

- 1 テキストエディタを開きデータ一覧ファイルを作成します。1行目は作成したシナリオの変数名に合わせて「金額」という固定文字列としてください。2行目からは税込金額算出対象の金額を記載します。



- 2 ファイルを保存します。拡張子は「.csv」としてください。



ファイル保存時の文字コードは WinActor の設定「CSV ファイルエンコーディング」に合わせてください。

9.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

Steps

1. 作成したシナリオファイルを、WinActor Manager にアップロードします。
また、入力ファイルとなるテキストファイルもアップロードします。

➡ ファイルのアップロード方法については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『6.5 ファイルをアップロードする』を参照してください。

検索結果一覧	ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	ダウンロード	削除
	金額.csv	NTTAT	0.04 KB	2019/07/29 13:24:48		
	税率計算.ums6	NTTAT	2.17 KB	2019/07/29 13:17:54		

2. アップロードしたシナリオファイルをシナリオとして登録します。

➡ シナリオの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.4 シナリオを作成する』を参照してください。

1. シナリオの「新規作成」エリアで、「ファイル名」の「参照」ボタンをクリックし、シナリオファイルを選択します。

新規作成	
名前	<input type="text"/> 64文字以下
所属	NTTAT
ファイル名	<input type="text"/> 参照 シナリオファイルを一指定
パスワード	<input type="password"/> 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)
入力パラメータ	<input data-bbox="464 1491 496 1525" type="button" value="+"/>
出力パラメータ	<input data-bbox="464 1525 496 1559" type="button" value="+"/>
タイムアウト	<input type="text" value="1800"/> 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日)
メモ	<input type="text"/> 200文字以下
機能タグ	<input type="text"/> 64文字以下
シナリオタグ	<input type="text"/> 64文字以下
<input type="button" value="OK"/>	

- ② 「出力パラメータ」の [+] ボタンをクリックし、「名前」にシナリオの出力用変数「出力ファイル」を設定します。「型」には「ファイル」を設定します。

新規作成

名前 税率計算 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 税率計算.ums6 参照 シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ +

名前	型	説明
出力パラメータ 出力ファイル	ファイル	

出力パラメータ +

タイムアウト 1800 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分)86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

OK

- ③ 必要に応じて、その他の設定をし、[OK] ボタンをクリックします。

新規作成

名前 税率計算 64文字以下

所属 NTTAT

ファイル名 税率計算.ums6 参照 シナリオファイルの一つ指定

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

入力パラメータ +

名前	型	説明
出力パラメータ 出力ファイル	ファイル	

出力パラメータ +

タイムアウト 1800 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分)86400秒以下(1日)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

OK

WinActor Manager に、シナリオが登録されます。

3. スケジュール登録エリアを表示します。

➤ スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。

- 1 WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- 2 「検索結果一覧」エリアでシナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- 3 「スケジュール登録」ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID Q0F0QBXsrXCWGUOc3nwVHA

親シナリオID

名前 税率計算

所属 NTTAT

ファイル名 税率計算.ums6

パスワード パスワード設定なし

入力パラメータ

名前	型	説明
出力ファイル	ファイル	

出力パラメータ

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻

最終実行WinActor ID

最終実行ステータス

実行回数 0

成功回数 0

失敗回数 0

平均実行時間 0

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor ID

編集者 winactor01

シナリオ登録日時 2019/07/29 13:36:49

更新日時 2019/07/29 13:36:49

スケジュール登録 履歴

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

4. データ一覧ファイルを設定します。

- ① 「データ一覧ファイル」のプルダウンをクリックし、「リクエストファイルを指定」を選択します。

スケジュール登録

名前 税率計算 64文字以下

所属 NTTAT

シナリオID Q0FDQBXSrXCWGUOc3nwVHA

シナリオ名 税率計算

WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

入力パラメータ

連携パラメータ

データ一覧ファイル リクエストファイルを指定

データ分割数 1 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。

種類

実行指定 データ駆動

アーカイブ

- ◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
- ◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

- ◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
- ◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

- ◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
- ◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ

リトライ回数 0

リトライ間隔 0 単位は秒

OK



データ一覧ファイルは3種類の方法で指定することができます。

ファイルを参照：

いままでのデータ一覧ファイルの指定と同じく、スケジュール登録時点で使用するデータ一覧ファイルが決まっている場合に指定します。データ分割するためには他の連携パラメータと組み合わせて使用する必要があります。

リクエストファイルを指定：

連携パラメータのリクエスト文字列、リクエストファイルと同様に、データを登録したタイミングでシナリオを実行したいときに指定します。

アウトプットパラメータを指定：

ひとつ前のシナリオの出力結果をデータ一覧ファイルとして受け取るときに指定します。対象のスケジュールと出力パラメータ名を合わせて指定する必要があります。

② 「データ分割数」に分割数を指定します。ここでは「2」を指定します。

スケジュール登録

名前 64文字以下

所属

シナリオID Q0F0QBX5rXCWGU0c3nwVHA

シナリオ名 税率計算

WinActor 指定なし

入力パラメータ

連携パラメータ

データ分割数 以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われず。

種別

実行指定

アーカイブ

- ◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
- ※ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

- ◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
- ※ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

- ◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
- ※ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

リトライ回数

リトライ間隔 単位は秒



データ分割数にはデータ数より小さい値を指定することは出来ません。また、データ分割数はスケジュール登録時に指定しますので、シナリオ実行中にリクエストファイル、またはアウトプットパラメータとしてデータ一覧ファイルを受け取る際には、指定したデータ分割数より小さいデータとならないようご注意ください。



データ分割数を指定した場合はシナリオを実行する WinActor を指定することは出来ません。また、先に WinActor を指定している場合はデータ分割数を指定することは出来ません。

5. スケジュールを登録します。

- ① 「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前: 税率計算 (64文字以下)

所属: NTTAT

シナリオID: Q0F0QBXSrxCWGUOc3nwVHA

シナリオ名: 税率計算

WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

入力パラメータ

連携パラメータ: +

データ一覧ファイル: リクエストファイルを指定

データ分割数: 1 (2以上を指定することでその数だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。)

実行指定	種別
データ駆動	

アーカイブ

- ◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
- ◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

- ◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
- ◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

- ◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
- ◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ: (200文字以下)

リトライ回数: 0

リトライ間隔: 0 (単位は秒)

OK

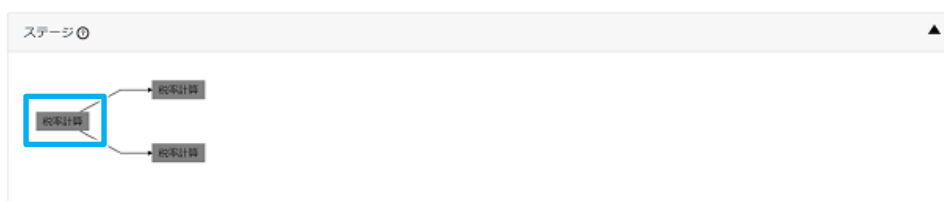
スケジュールが登録されます。

9.3 シナリオを実行する

データを登録してスケジュールを実行してみましょう。

Steps

1. フロー画面を表示します。
 - ① WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。
 - ② 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択します。
 - ③ 「ステージ」エリアで先頭の要素をクリックします。データ分割時は親要素に続いて子要素が表示されています。



「詳細情報」エリアが表示されます。

2. データを登録します。
 - ① [データ一覧ファイル] 欄の [設定] ボタンをクリックします。



- ② リクエストパラメータ入力ダイアログが表示されます。[参照] ボタンをクリックし、データ一覧ファイルとして設定したいファイルを決めて [選択] ボタンをクリックします。ファイルを選択したら [OK] ボタンをクリックします。

リクエストパラメータ

型 リクエストデータ一覧ファイル

値 参照 ファイルを一つ指定

OK キャンセル

検索結果一覧

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	選択
金額.csv	NTTAT	0.04 KB	2019/07/29 13:24:48	選択
税率計算.ums6	NTTAT	2.17 KB	2019/07/29 13:17:54	選択

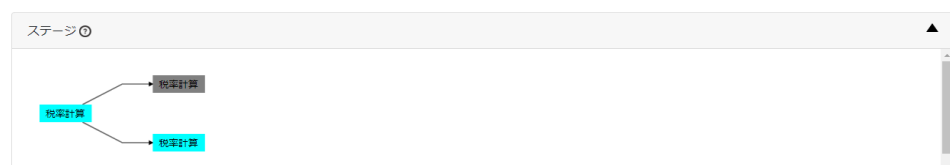
リクエストパラメータ

型 リクエストデータ一覧ファイル

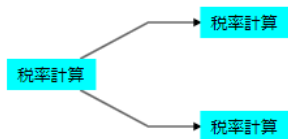
値 参照

OK キャンセル

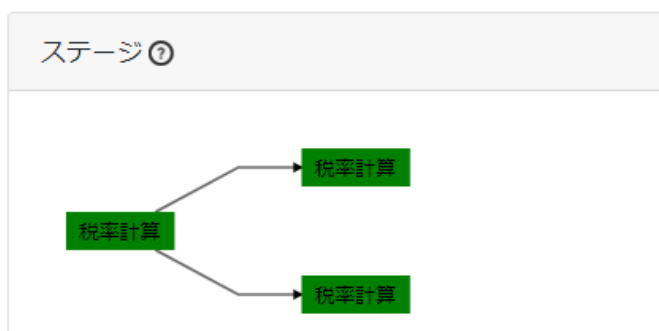
- ③ すべてのリクエストパラメータの登録が終わると実行が開始されます。「検索結果一覧」エリアまで画面をスクロールし、対象のスケジュールをクリックします。
- ④ 「履歴」エリアに新しい行が表示されているのでクリックします。
- ⑤ 「ステージ」エリア内の子要素の色が変わっています。水色は実行中のタスクを表しています。



複数の WinActor が使用可能であれば並行してタスクを実行することができます。



- ⑥ [リロード] ボタンをクリックすると最新の情報に更新できます。タスクの実行が終わると要素の色が緑に変わります。



7 各タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

詳細情報

タスクID nkc4oNWTAsUQhF7YD7KQ

名前 税率計算

所属 NITAT

シナリオ名 [税率計算](#)

状態 正常終了

データ一覧ファイル

名前	型	値	説明
入力パラメータ	リクエストデータ一覧ファイル	oARFZVNoG5mDQq-wGWAToA	

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル

名前	型	値
出力パラメータ	出力ファイル	Dqjx--mF_fuBX-TM2IBQ

生成日時 2019/07/29 14:33:38

開始日時 2019/07/29 14:34:06

終了日時 2019/07/29 14:34:15

更新日時 2019/07/29 14:34:15

実行時間(秒) 8

リトライ実行済み回数 0

実行予定WinActor 指定なし

WinActor [WinActor02@WinActor02](#)

スケジュール [税率計算](#)

スケジュール時刻 2019/07/29 14:14:49

エラー

中断 削除

詳細情報

タスクID bx-M9fWQJegskoGfKCAJw

名前 税率計算

所属 NITAT

シナリオ名 [税率計算](#)

状態 正常終了

データ一覧ファイル

名前	型	値	説明
入力パラメータ	リクエストデータ一覧ファイル	ooAxFaOW1Kod8vKv3HtHuQ	

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル

名前	型	値
出力パラメータ	出力ファイル	Q3iEKHKeP0GdXXot5NjYA

生成日時 2019/07/29 14:33:37

開始日時 2019/07/29 14:33:59

終了日時 2019/07/29 14:34:06

更新日時 2019/07/29 14:34:06

実行時間(秒) 7

リトライ実行済み回数 0

実行予定WinActor 指定なし

WinActor [WinActor01@WinActor01](#)









スケジュール [税率計算](#)

スケジュール時刻 2019/07/29 14:14:49

エラー

中断 削除

- ⑧ 「ファイル」画面を見ると分割されたデータ一覧ファイルと各タスクから出力された結果が保存されています。

ファイル名	所属	ファイルサイズ	登録日時	ダウンロード	削除
result.txt	NTTAT	0.04 KB	2019/07/29 14:34:15		
result.txt	NTTAT	0.04 KB	2019/07/29 14:34:06		
oARF2VNoGSmDQO-wGWAToA.csv	NTTAT	0.05 KB	2019/07/29 14:33:37		
ooAxFaOW1Kod8vkVv3hHbQ.csv	NTTAT	0.05 KB	2019/07/29 14:33:37		



『8 実行結果に合わせて次に実行するシナリオを決めるには』でスケジュールステータスにより条件分岐する方法を説明しましたが、データ分割した場合の親と子のステータスは次のように決まります。

子のステータスは指定した子シナリオの終了状態のみで確定しますが、親のステータスはすべての子の処理が終わってから確定します。一部の子シナリオが正常終了でも中断や異常終了の子シナリオがあると親のステータスも中断や異常終了となります。

また、すべての子の処理が終わってから親のステータスが確定することから、子の処理がすべて終わるまで待ち合わせたい場合などにも使用できます。

10. 承認後にシナリオを開始するには

『6 日時以外のタイミングでシナリオを実行するには』ではデータ登録時にシナリオを実行する方法を紹介しましたが、シナリオ実行方法には他にもあります。それは人手によるシナリオ実行です。WinActor Manager には承認機能があり、承認者に任命されたユーザがシナリオやデータを確認し、処理を開始しても良いと判断したときに「承認」の合図を送ることでシナリオを実行することが出来ます。

ここでは WinActor Manager の機能を使って承認を行う方法について説明します。



ここではシナリオ全体を実行するために承認機能を用いていますが、シナリオの途中で承認を行うことも出来ます。この場合は途中結果を確認し、問題ない場合は承認により処理を続行する、または却下により処理を中断するといった使い方ができます。

10.1 シナリオを準備する

ここでは、『6.1 シナリオを準備する』で作成した、2つの文字列を受け取り、連結した文字列を出力するシナリオを使って説明します。シナリオの作成方法は『4.1 シナリオを準備する』を参照してください。

10.2 シナリオを登録する

WinActor で作成したシナリオを、WinActor Manager に登録しましょう。

『4.2 シナリオを登録する』の Step 2 までの手順を参考にシナリオ登録まで実施してください。ここではスケジュール登録方法から説明します。

Steps

1. シナリオをスケジュール登録するためにスケジュール登録エリアを表示します。
 - スケジュールの登録方法の詳細については、『WinActor Manager on Cloud オペレーションマニュアル』の『7.7 シナリオをスケジュール登録する』を参照してください。
- ① WinActor Manager で、「シナリオ」画面を表示します。
- ② 「検索結果一覧」エリアで「画面表示」シナリオを選択し、「詳細情報」エリアを表示します。
- ③ [スケジュール登録] ボタンをクリックします。

詳細情報

シナリオID 90EfhLVOOhU_Cv_650cDOQ

親シナリオID

名前 文字列連結

所属 NTTAT

ファイル名 文字列連結.ums6

パスワード パスワード設定なし

名前	型	必須	省略値	説明
入力パラメータ	InputString1	文字列	必須	
	InputString2	文字列	必須	

出力パラメータ

名前	型	説明
OutputString	文字列	

タイムアウト 1800

メモ

機能タグ

シナリオタグ

修正内容

最終実行時刻 2019/07/26 17:10:06

最終実行WinActor ID VzKNDqOusebn2b40n7Q5w

最終実行ステータス 正常終了

実行回数 0

成功回数 3

失敗回数 0

平均実行時間 1

次回実行予定時刻

次回実行予定WinActor ID

編集者 winactor01

シナリオ登録日時 2019/07/26 14:10:22

更新日時 2019/07/26 14:10:22

スケジュール登録 履歴 編集 削除

「スケジュール登録」エリアが表示されます。

2. 連携パラメータを登録します。

- 1 [連携パラメータ] の [+] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前: 文字列連結 (64文字以下)

所属: NTTAT

シナリオID: 9DefnLVOOHU_Cv_65OcDOQ

シナリオ名: 文字列連結

WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

名前	型	必須	説明	値
入力パラメータ				
InputString1	文字列	必須		1024文字以下
InputString2	文字列	必須		1024文字以下

連携パラメータ: +

データ一覧ファイル: 参照 (ファイルを参照)

データ分割数: 1 (2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われず)

実行指定: 即時 (種別)

アーカイブ: シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
 シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ: シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
 シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時: シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ: (200文字以下)

リトライ回数: 0

リトライ間隔: 0 (単位は秒)

OK

連携パラメータ入力ダイアログが表示されます。

- 2 「名前」を設定します。承認型を設定するためここではプルダウンからは選択せず、入力パラメータに含まれない名称で設定してください。

連携パラメータ

名前: 承認 (255文字以下)

型: (プルダウンメニュー)

OK キャンセル

- ③ 「型」ではこのパラメータがどのように値を受け取るかを設定します。ここでは承認を行うため「承認型」として設定します。

連携パラメータ

名前 承認 255文字以下

型

- スケジュールステータス
- スケジュールパラメータ(文字列)
- スケジュールパラメータ(ファイル)
- スケジュールアーカイブファイル
- リクエスト文字列
- リクエストファイル
- 承認

OK キャンセル

- ④ 「承認者ID」の[参照]ボタンをクリックします。

連携パラメータ

名前 承認 255文字以下

型 承認

承認者ID 参照 ユーザを指定

OK キャンセル

- ⑤ 承認者とするユーザを決定し、ユーザ名の列の[選択]ボタンをクリックします。

検索結果一覧

ユーザ名	所属	ロール名	更新日時	選択
winactor01	NTTAT	administrator	2019/07/26 14:08:05	選択
winactor02		user	2019/07/01 18:32:30	選択

- ⑥ [OK] ボタンをクリックします。

連携パラメータ

名前 承認 255文字以下

型 承認

承認者ID KDEGpElj5nQPvJH_jbUss 参照

OK キャンセル



複数の承認者を選ぶことも可能です。その場合、すべての承認者が承認した場合にシナリオが実行することになります。

3. スケジュールを登録します。

- 1 「InputString1」「InputString2」に任意の文字列を登録し、「実行指定」が「データ駆動」になっていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

スケジュール登録

名前 文字列連結 64文字以下

所属 NTTAT

シナリオID 9DEfnLVOOHJ_Cv_650cD0Q

シナリオ名 文字列連結

WinActor 指定なし シナリオを実行するWinActorを指定する

入力パラメータ	名前	データ型	必須	値	制限
InputString1	文字列	必須	WinActor Managerで、	024文字以下	
InputString2	文字列	必須	シナリオを実行しました。	024文字以下	

連携パラメータ 承認 承認 KDEGpEIJ5nQPvjH_JbUssQ

データ駆動ファイル 参照 ファイルを参照

データ分割数 1 2以上を指定することでその値だけデータ一覧ファイルを分割する。1を指定した場合、分割は行われない。

実行指定 データ駆動

アーカイブ

- ◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
- ◎ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ

- ◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
- ◎ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時

- ◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
- ◎ シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

メモ 200文字以下

リトライ回数 0

リトライ間隔 0 単位は秒

OK

スケジュールが登録されます。

10.3 シナリオを実行する

承認してスケジュールを実行してみましょう。

Steps

1. フロー画面を表示します。
 - ① WinActor Manager で、「進捗」画面を表示します。
 - ② 「検索結果一覧」エリアでスケジュールを選択します。
 - ③ 「ステージ」エリアで要素をクリックします。承認待ちの要素は黄色で表示されています。

検索結果一覧

スケジュール名	実行時間	承認日時
文字列連結	NTTAT	2019/07/26 18:38:02
データドリブン		2019/07/01 17:23:07
先頭スケジュール(ステータス)		2019/07/01 16:36:57
先頭スケジュール(承認)		2019/07/01 15:14:25
先頭スケジュール(データ分割)		2019/07/01 14:57:04
先頭スケジュール		2019/07/01 14:47:09

ページあたりの件数 10 7件中 1 - 7件


履歴

履歴なし

ステージ

★(待ち)文字列連結

「詳細情報」エリアが表示されます。

承認待ちのユーザが WinActor Manager にログインするとダッシュボードに承認待ちのスケジュールがあることが表示されます。スケジュール名をクリックすると「進捗」画面に遷移しますので対象のスケジュールを選択して承認を行ってください。

WinActor Manager on Cloud

- ダッシュボード
- ライセンス
- WinActor
- ファイル

承認待ちステージ一覧

文字列連結

2. 承認します。

- 1 [連携パラメータ] 欄の [承認] ボタンをクリックします。

詳細情報 ⓘ

スケジュールID 9Ug4wIBDNH8BwQ_C4PZ5sQ

スケジュール名 [文字列連結](#)

所属 NTTAT

シナリオ名 [文字列連結](#)

状態 待機中

有効/無効 有効

実行予定WinActor 指定なし

名前	型	値	説明
InputString1	文字列	WinActor Managerで、	
InputString2	文字列	シナリオを実行しました。	
承認	承認	winactor01	

連携パラメータ

名前	型	情報	説明
承認	承認	winactor01(審査中)	<input type="button" value="承認"/>

アーカイブファイル

出力パラメータ

データ一覧ファイル

種類
実行指定 データ駆動

作成日時 2019/07/26 18:38:02

更新日時 2019/07/26 18:38:02

開始日時

終了日時

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

リトライ実行済み回数 ⓘ

メモ

- 2 [承認] ラジオボタンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

承認 ⓘ

承認結果 承認 却下

コメント 200文字以下

- ③ 承認が終わると実行が開始されます。「検索結果一覧」エリアまで画面をスクロールし、対象のスケジュールをクリックします。
- ④ 「履歴」エリアに新しい行が表示されているのでクリックします。
- ⑤ 「ステージ」エリア内の要素の色が変わっています。承認後に実行したタスクが正常終了したことがわかります。

履歴

スケジュール名	所属	ステージ状態	開始時間	終了時間
文字列連結	NTTAT	正常終了	2019/07/26 18:41:34	2019/07/26 18:41:36

ページあたりの件数 1件中 1 - 1件

新規作成

ステージ

正常終了

- ⑥ タスクの実行結果は「タスク」画面から確認できます。

詳細情報

タスクID AfFNvCY0tony13Aplwtg

名前 文字列連結

所属 NTTAT

シナリオ名 [文字列連結](#)

状態 正常終了

データ一覧ファイル

名前	型	値	説明
InputString1	文字列	WinActor Managerで、	
InputString2	文字列	シナリオを実行しました。	
承認	承認	winactor01(承認)	

アーカイブ シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出さない

異常発生時 シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

アーカイブファイル

名前	型	値
OutputString	文字列	WinActor Managerで、シナリオを実行しました。

生成日時 2019/07/26 18:41:11

開始日時 2019/07/26 18:41:34

終了日時 2019/07/26 18:41:36

更新日時 2019/07/26 18:41:36

実行時間(秒) 1

リトライ実行済み回数 0

実行予定WinActor 指定なし

WinActor [WinActor01@WinActor01](#)

スケジュール [文字列連結](#)

スケジュール時刻 2019/07/26 18:38:02

エラー

中断 削除



NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright © 2021 NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。

本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

WMC-T-2021-0326
